

## 地域連絡協議会に提示された委員からの意見書について

令和 3 年 3 月 5 日

長崎大学

### 1. 経緯

令和 2 年 8 月 25 日に開催された第 31 回地域連絡協議会に提示された梶村龍太、道津靖子、神田京子各委員の連名の意見書（別添 1）において、同意見書を本監理委員会へ提出することを求める記述があることから、その要望に沿って提出する。なお、一部を修正して第 32 回協議会に再度提示された意見書（別添 2）も併せて提出する。

別添 1 の意見書では、「私たち（注：連名の 3 委員）」が、「新型コロナウイルスによる住民の意識変化を尋ねて、BSL 4 施設についてアンケートを取ることは必要不可欠なものと判断」して、「平野町山里自治会と山里中央自治会の住民」に対する「アンケートを企画、6 月に実施」したとされている。

また、第 31 回協議会において、3 委員から次の発言があった。

- この要望書については、手前味噌かもしれないが、これまでの協議会の中で最も重要な意見書だと思う。
- 本協議会の趣旨にまさに合致するものであるので、真摯に受け止めていただいて議論を進めて欲しい。
- 何年も前からずっと住民アンケート（の実施）を（大学へ）お願いしてきた。賛成、反対のアンケートでなくてもいいので住民の不安に寄り添うようなアンケートを実施して欲しいと、個別に山里中央自治会と平野町山里自治会で大学と 4 回ぐらい協議をしたが受け入れてもえなかったのはすごく残念である。
- 賛成、反対にかかわらず、この施設を造ることについて、コロナの影響もあって、どういことを住民が感じているのかということ、右にも左にもどちらにも行かない、すごく平等な質問をしたと思っている。
- こういうことをするのは最初で最後であり、絶対反対ということではない。これだけの労力を要して提出したのでこのとおりにしないといけないという気持ちは毛頭ない。ただただ、施設がどんどん出来ていることに対する住民の不安が大きかったので、今これをする必要があるのではないかとということで実施したものである。

(参考)

アンケートを大学等が実施することについては過去の協議会において多くの議論がなされており、設問の立て方や結果の解釈に難しい点があること、アンケートを行うことで地域を二分させる懸念があり自治会から反対の声があること、大学が既に実施している説明会での対話やフリーダイヤルによる双方向の対応のほう地域住民の方々の色々な声や疑問に答えていく上で優れているというような意見も踏まえて、大学等によるアンケートは行わないという整理がされている。

## 2. 第31回協議会における委員の主な意見（詳細は別添3）。

- 住民アンケートということで注目して見ているが、がっかりした。アンケートをされた努力は分かるが回答数が約半分と非常に少ない
- 二つの自治会はおそらく総会か何かを経てこの要望書を決議されたと思うが、あくまでも団体から大学に提出された要望書であり、関わった3名が協議会の委員ということで貴重な報告として真摯に受け止めるが、この内容について長時間、本協議会の場で取り上げるのは如何なものかと思う。
- 自治会は自主的な運営でやっている。自治会の中には数々の意見があり統一すべきではない。アンケートは意見を聞くにはふさわしくないと思うので、やって欲しくなかった。
- 意見として聞くのはよいが、本協議会の場で取り扱うべきではないと思う。
- 約70%以上の方が施設に期待しているという数字が出ている。反対が声高に言われているが、期待している人が7割もいるととらえてよいのではないか。
- 今回出された意見は賛否両論あり不安な気持ちを出されているものもたくさんあり、これから先ますます不安が高まってくると思うので、大学としては重く受け止め、今後の情報公開の際の参考にしていただければと思う。
- アンケートの取り方や分析の仕方が間違っていると思う。そもそも質問用紙が付いておらず評価できない。アンケートは取る団体や人の価値観が質問内容に出てくるので、大学がすべきではないし、住民側もすべきではないと思っていたが、今回は賛成、反対のアンケートではないというのがポイントで、それで面白い結果が出てきているのではないか。要望書や分析には、大学側がきちんと対応し検討すべき内容が入っているので、アンケートを協議会でどう取り扱うかという議論ではなく、大学側としてこれをどう考えるかをぜひ検討して欲しい。
- 2自治会の会員数より多く配布されているようなので、2自治会以外にはどういう人に、何人に、どういうものを、誰の名前で配布したのか分からない。

- 期待しているが、やはり不安や疑問や要望があるというのが今回のアンケートの全体的な流れだと思う。

(令和2年8月25日 第31回地域連絡協議会)

○ご質問・ご意見

氏名 ( 梶村龍太、道津靖子、神田京子 )

1. 住民アンケートの分析からは、大学の安全性に対する説明に対し、住民が納得できていないことが伺えます。施設はそもそも安全なのだといくら説明されても、事故発生の確率が0になるわけではありません。0ではない以上、事故時にどのような対応がなされるのか分からずに安心してくださと言われても無理です。

安全管理や事故対策について、詳細で実践的な対策を立て、しっかりと文書で示してもらいたいというのが、アンケートの分析から分かる住民の意思です。そこで、大学に対して以下の要望を行います。

① 住民向け安全管理マニュアルの作成

今後、2021年の施設完成までの間に施設の具体的な運用、安全管理の方法について議論がなされていきます。住民の声に耳を傾けて、具体的で詳細な基準を持った住民の不安感を払しょくできる安全管理マニュアルを作成してください。そして、近隣自治会の住民に配布してください。

② 事故発生時の住民向けマニュアル

これまで事故が発生した場合の対応策については、ほとんど議論されてきていません。万が一の時にどうすればよいのか、どうなるのかが分からずに安心して施設の近くで生活することはできません。事故発生時の具体的な対応と十分な情報の開示とを内容とした、事故発生時の住民向けマニュアルを作成してください。そして、近隣自治会の住民に配布してください。

③ 事故発生時の責任の明確化と補償についての取り決め

これまで大学からは、事故が発生したときに、どこが責任をとり、補償をどうするのか、具体的な提案はありません。そろそろ、具体案を出してください。

④ 運用開始後の情報開示・意見交換・相互理解の場の設定

施設建設は、終わりではなく、これからの長い付き合いの始まりです。今後も住民との相互理解を深めるために、情報開示の仕組みをつくり、意見交換の場を設けるとともに近隣自治会住民に対する定期健康診断の無料開催など、不安を取り除き、相互の風通しを良くするための方法を検討ください。

2. 今回の住民アンケートでは、『施設は必要かもしれないが、何故住宅密集地に造るのか？ 納得できるような回答は未だ得られていない』といった意見が非常に多く寄せられました。

長崎大学は、これまで住民の理解を得るための多くの説明会等を行い、最近は住民の理解も進んできている、と述べています。

しかし、アンケート結果から、多くの住民の方々が未だに疑問や不安、不信感を抱いていることは明らかであり、長崎大学の見解とは大きな乖離があると思われます。

計画をゼロベースで見直し、立地を変更するといったことが現実的でないとするならば、長崎大学は、少なくとも今回私たちが提言した要望事項について、これから十分な検討、議論を行い、その結果を住民に示していただきたいと思います。

このことが、大学と住民との良き関係をつくることであり、まさに、『合意形成をする』ことだと考えます。

自治会、住民の代表として、長崎大学の誠意ある対応を切に希望します。

3. 文部科学省の監理委員会へも本意見書を提出してください。そして、そこで議論された結果をお知らせください。

長崎県、長崎市は、長崎大学との三者協議会を通じて、今後どのようにBSL4施設の安全等に関与していくのか、その方針も示してください。

以 上

## 長崎大学への要望書

地域連絡協議会委員

梶村龍太、道津靖子、神田京子

### 住民アンケート（２０２０年６月実施）の結果報告及び アンケート結果に基づく長崎大学への要望書

平野町山里自治会  
山里中央自治会

#### １． はじめにーアンケート実施理由

長崎大学は多くの周辺自治会が、「住民の合意と理解を得ることが必須条件」と要望していたにもかかわらず 2019 年 1 月に B S L 4 施設の建設を開始しました。住民の不安は置き去りのまま着工となったことで、大学への信頼がさらに薄れたと感じ、とても残念でした。

せめて事業主体である長崎大学に、「賛成・反対のアンケートでは無く、住民の不安に寄り添うようなアンケートを実施して欲しい」と、地域連絡協議会や個別の協議で何回も要望をしてきましたが、残念ながら聞き入れてもらえませんでした。

そのような状況下、新型コロナウイルスという新たな感染症の世界的流行、パンデミックという深刻な事態が発生しました。もちろん長崎県、長崎市においても、新型コロナの問題は市民生活、そして地域経済に甚大な影響を及ぼしています。

そこで、新型コロナウイルスによる住民の意識の変化を尋ねて、アンケートを取ることは必要不可欠なものと判断し、両自治会主催で実施しました。

#### ２． アンケート実施

アンケートは、平野町山里自治会・山里中央自治会で企画し、両自治会と近隣自治会住民を対象として、6 月に実施しました。 アンケート用紙 5 2 9 枚を配布、2 7 7 人から回答をいただきました。 回答率は 5 2 . 4 % でした。

#### ３． アンケート結果について

アンケート結果の詳細については、次頁以降の集計表とグラフをご覧ください。

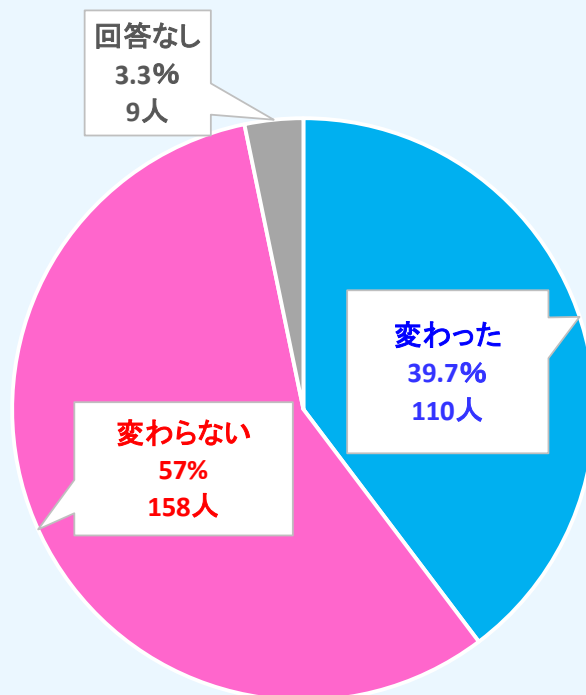
具体的なご意見に関しては、すべて原文のまま記載しています。長崎大学をはじめ、国、県、市、協議会の皆様には、是非とも各自の意見の全文を読んでいただきたいと思います。そこには住民の皆さんの真剣な思いが綴られています。

長崎大学の「BSL-4施設」建設についての自治会アンケート取り纏め表

アンケート529枚配布 回答数 277 回答率 52.4%

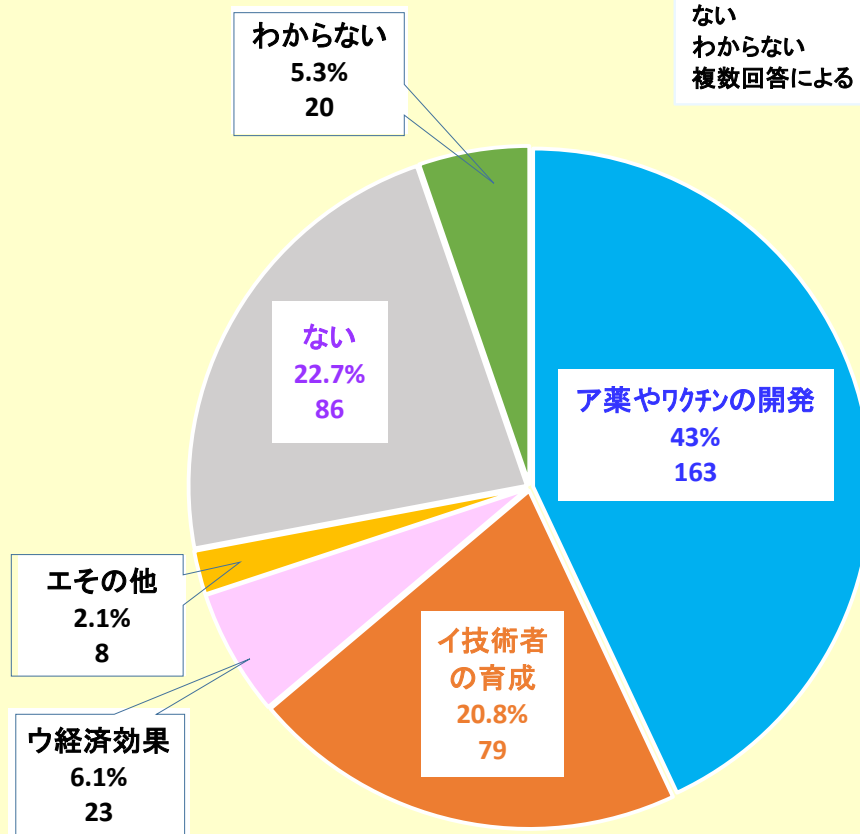
|                             |                            | 回答人数  |      |       | アンケート回答数 |       |       |
|-----------------------------|----------------------------|-------|------|-------|----------|-------|-------|
| 1. コロナ感染拡大後のBSL-4施設への意識変化は？ |                            |       |      |       | 277      |       |       |
| 1-①変わった                     | 変わった                       |       |      |       | 110人     | 39.7% |       |
| 1-②変わらない                    | 変わらない                      |       |      |       | 158人     | 57.0% |       |
|                             | 回答なし                       |       |      |       | 9人       | 3.3%  |       |
| 2. 施設に期待していることは？            |                            | 回答者   | 277人 |       | 379      |       |       |
| 2-① あるア                     | ア 薬やワクチンの開発                | ある    | 171人 | 61.7% | 163      | 43.0% | 273   |
| 2-① あるイ                     | イ 技術者の育成                   |       |      |       | 79       | 20.8% | 72.0% |
| 2-① あるウ                     | ウ 経済効果                     |       |      |       | 23       | 6.1%  |       |
| 2-① あるエ                     | エ その他                      |       |      |       | 8        | 2.1%  |       |
| 2-② ない                      | ない                         | ない    | 86人  | 31.0% | 86       | 22.7% |       |
| 2-③ わからない                   | わからない                      | わからない | 20人  | 7.3%  | 20       | 5.3%  |       |
| 3. 施設に対する疑問は？               |                            | 回答者   | 277人 |       | 783      |       |       |
| 3-①あるア                      | ア 何故住宅密集地の坂本キャンパスに造るのか？    | ある    | 256人 | 92.5% | 209      | 26.7% | 762   |
| 3-①あるイ                      | イ 施設の安全対策や危機管理は？           |       |      |       | 185      | 23.6% | 97.3% |
| 3-①あるウ                      | ウ 緊急時における住民の避難計画は？         |       |      |       | 167      | 21.3% |       |
| 3-①あるエ                      | エ 住民に被害が及んだ時の責任の所在、補償体制は？  |       |      |       | 201      | 25.7% |       |
| 3-②ない                       | ない                         | ない    | 17人  | 6.1%  | 17       | 2.2%  |       |
| 3-③わからない                    | わからない                      | わからない | 4人   | 1.4%  | 4        | 0.5%  |       |
| 4. 施設の建設に不安がありますか？          |                            | 回答者   | 277人 |       | 738      |       |       |
| 4-①あるア                      | ア ウィルスの漏洩                  | ある    | 246人 | 88.9% | 232      | 31.4% | 699   |
| 4-①あるイ                      | イ エボラ等に感染した動物の逃走           |       |      |       | 164      | 22.2% | 94.7% |
| 4-①あるウ                      | ウ テロの発生                    |       |      |       | 136      | 18.4% |       |
| 4-①あるエ                      | エ 幼い子供の将来が心配               |       |      |       | 71       | 9.6%  |       |
| 4-①あるオ                      | オ 高齢者や病人は動くことが出来ない         |       |      |       | 96       | 13.0% |       |
| 4-②ないア                      | カ 大学の説明がよく理解出来た            | ない    | 22人  | 7.9%  | 9        | 1.2%  |       |
| 4-②ないイ                      | キ 安全な施設だと思う                |       |      |       | 21       | 2.9%  |       |
| 4-③わからない                    | ク わからない                    | わからない | 9人   | 3.2%  | 9        | 1.2%  |       |
| 5. 大学に要望することは？              |                            | 回答者   | 277人 |       | 1261     |       |       |
| 5-①あるア                      | ア 想定される事故の内容と対応策を文書で示す     | ある    | 252人 | 91.0% | 193      | 15.3% | 1236  |
| 5-①あるイ                      | イ 住民に被害が生じたときの補償内容を文書で示す   |       |      |       | 172      | 13.6% | 98.0% |
| 5-①あるウ                      | ウ 施設の安全管理と危機管理対策を文書で示す     |       |      |       | 164      | 13%   |       |
| 5-①あるエ                      | エ 緊急時の住民への連絡方法を文書で示す       |       |      |       | 148      | 11.7% |       |
| 5-①あるオ                      | オ 緊急時の住民の避難計画を文書で示す        |       |      |       | 139      | 11%   |       |
| 5-①あるカ                      | カ 継続的に住民の避難訓練を行う           |       |      |       | 71       | 5.6%  |       |
| 5-①あるキ                      | キ 継続的に住民の健康診断を行う           |       |      |       | 85       | 6.7%  |       |
| 5-①あるク                      | ク 住民が継続的に意見を述べる機会を作る       |       |      |       | 111      | 9%    |       |
| 5-①あるケ                      | ケ 住民への説明・報告等正確な情報開示を継続的に行う |       |      |       | 153      | 12.1% |       |
| 5-②ない                       | ない                         | ない    | 16人  | 5.8%  | 16       | 1.3%  |       |
| 5-③わからない                    | わからない                      | わからない | 9人   | 3.2%  | 9        | 0.7%  |       |

### 1. コロナ感染拡大後のBSL-4施設へ意識の変化は？



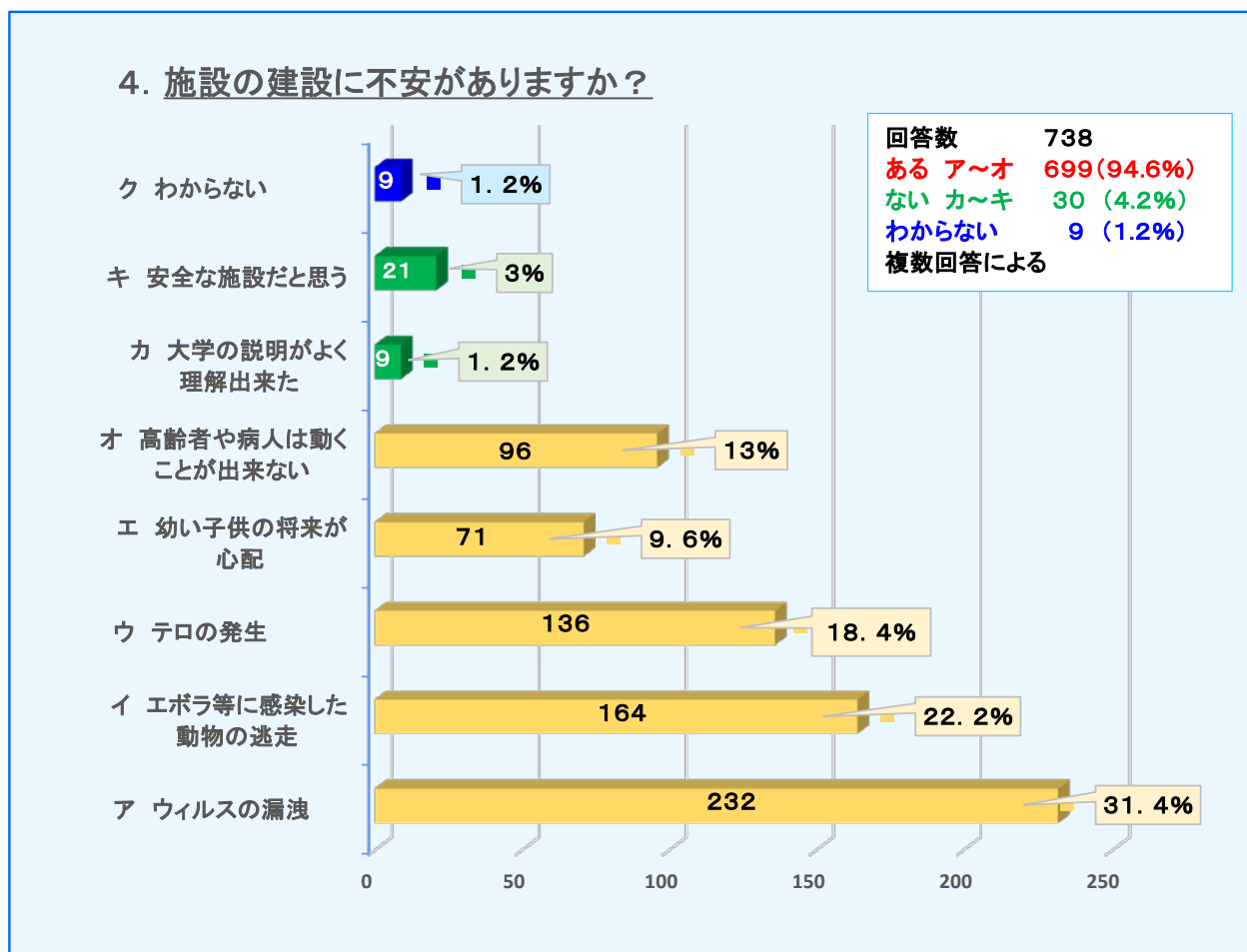
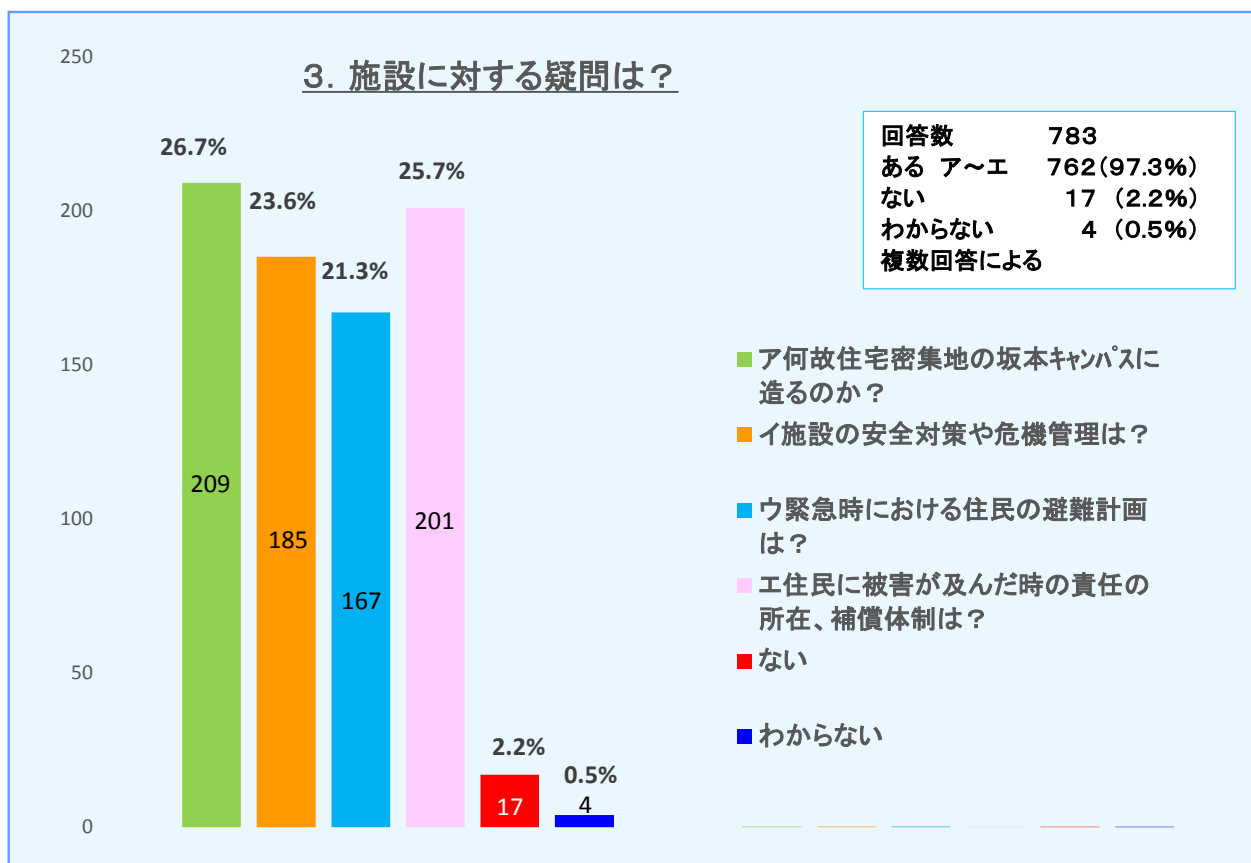
配布数 529  
回答者数 277  
回答率 52.4%

### 2. 施設に期待していることは？

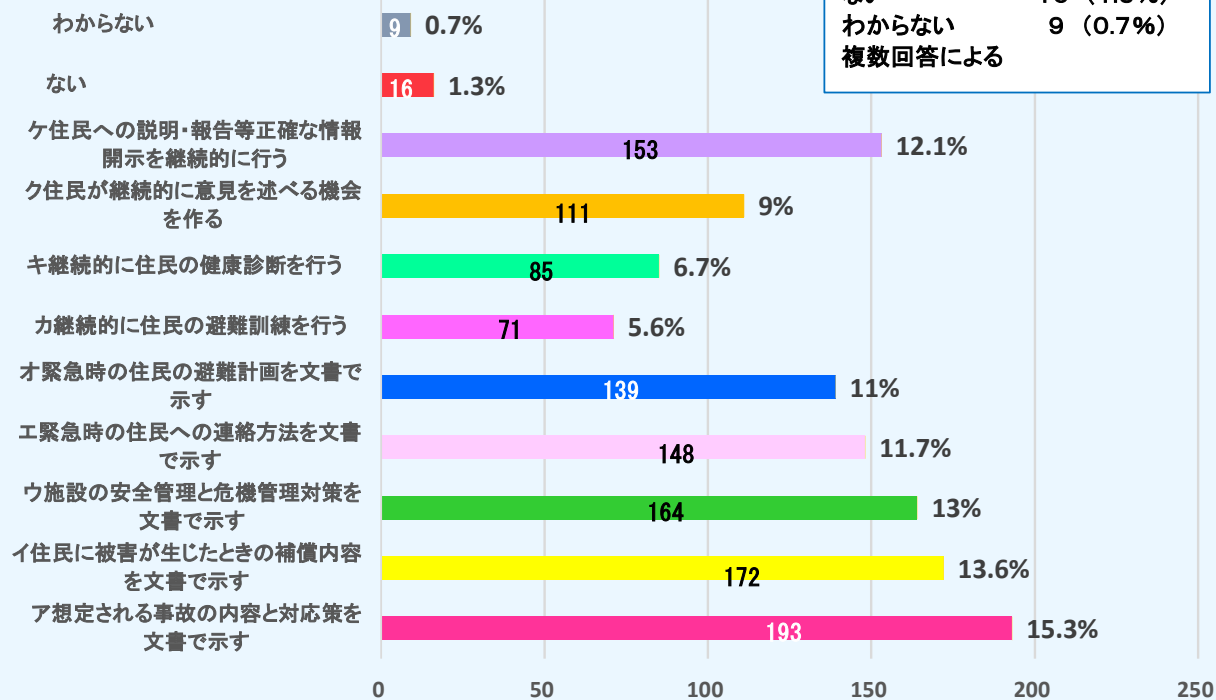


回答数 379  
ある ア～エ 273(72%)  
ない 86(22.7%)  
わからない 20(5.3%)  
複数回答による





## 5. 大学に要望することは？



以下、アンケート各質問の回答について分析を加えます。

### 質問１ コロナ感染拡大後のＢＳＬ４施設への意識変化は？

回答者 ２７７人 回答件数 ２６８

意識が変わったと答えた人は１１０人、変わらないと答えた人は１５８人、回答無しが９人でした。

この質問については、人数より個別の具体的な意見が重要だと考えます。そこには、住民の皆さんの意識がどのように変化したのか、ということがよく表れているからです。

全体的には、新型コロナで『ＢＳＬ４施設は必要かもしれないと思うようになった』という変化と、『ＢＳＬ４施設に反対する気持ちがますます強くなった』という変化という、大きく二つの変化がありました。

意見の数からは、『新型コロナ後、ＢＳＬ４施設に対する住民の期待はあるものの、施設に対する不安や反対の声は以前よりむしろ一層強まっているのではないか』ということが見て取れます。

### 質問２ 施設に期待していることは？（複数回答あり）

回答者 ２７７人 回答件数 ３７９

『期待する』と答えた人は１７１人（６１．７％）で、『期待することはない』と答えた人は８６人（３１％）、『わからない』は２０人（７．３％）でした。

『期待する』の４項目に合計２７３の回答があり、最も多かったのが『薬やワクチンの開発』の１６３回答、次いで『技術者の育成』の７９回答、計２４２回答で、この２項目で『期待する』全体の９割近くとなっています。

施設建設に肯定的な人も否定的な人も、少なからず期待していることがあり、その中でも、特に薬やワクチンの開発、技術者の育成については、『ウィルスの脅威に対して多くの人が大学の先進技術を駆使して、研究を行い人々の命を守るという使命を果たす事を望んでいる』ということであろうと考えます。

一方、『期待する』とした回答者のほとんどが、同時に、ＢＳＬ４施設に対して『疑問』や『不安』、そして『要望』があると回答しています。

### 質問３ 施設に対する疑問は？（複数回答あり）

回答者 ２７７人 回答件数 ７８３

『疑問がある』と答えた人は２５６人（９２．５％）で、『疑問はない』が１７人（６．１％）、『わからない』が４人（１．４％）でした。

『疑問がある』の４項目に合計７６２の回答があり、『疑問がある』については４項目全般に多くの方が回答しています。このことは、いまだに施設に対する多くの住民の疑問が払しょくされていないことを示しています。

#### 質問4 施設の建設に不安がありますか？（複数回答あり）

回答者 277人 回答件数 738

『不安がある』と答えた人は246人（88.9％）で、『不安はない』との回答は22人（7.9％）にとどまり、『わからない』と回答した人は9人（3.2％）でした。この結果からは、住民の大多数がBSL4施設に対して不安を感じているということが端的に示されました。

『不安がある』の5項目に699の回答があり、『ウィルスの漏洩』が232回答、『エボラ等に感染した動物の逃走』が164回答、『テロの発生』が136回答であり、この3項目の合計が532回答と、全体の約76％になっています。

つまり、不測の事故、あるいはテロ行為によってエボラ等の危険なウィルスが施設外に漏出して、感染拡大が起きるかもしれない不安を抱き日々怯えながら暮らしていかなければならない事を非常に心配しています。今回、コロナのパンデミックにより、国も地方自治体も感染症専門家もWHOでさえも、頼りにならない事を多くの国民が知り、レベル4のエボラ出血熱の場合は、どれだけ脅威になるのかわからないという不安があるということです。

#### 質問5 大学に要望することは？（複数回答あり）

回答者 277人 回答件数 1261

『要望がある』と答えた人は252人（91％）で、『要望はない』と答えた人は16人と、回答した277人の（5.8％）でした。また、『わからない』との回答は9人（3.2％）でした。

『要望がある』の9項目には実に1,236もの回答があり、多かったのは『想定される事故の内容と対応策を文書で示す』の193回答、次いで『住民に被害が生じたときの補償内容を文書で示す』の172回答、『施設の安全管理と危機管理対応策を文書で示す』の164回答でした。

#### 質問6 その他、ご意見（別紙）

質問1、質問2へのご意見とその他のご意見について、住民の皆さんの真剣な思いが綴られております。長崎大学に対する厳しい意見も多くありますが、全てをお読みいただき住民の要望に正面から向き合って対応していただくことを望みます

## 4. 分析結果のまとめ

以上の通り、住民アンケートからは住民の方々のBSL4施設に対する期待と不安とが浮かび上がります。

- ① 質問2からは、多くの住民がBSL4施設での研究の意義を一定程度認めるものの、同時に様々な疑問、不安、要望をもっていることが分かります。施設の意義は意義として認めながら不安を感じているのです。このような素朴な不安に対して丁寧に応えて、不安を払拭できる方法を工夫することが、設置者の責務です。

- ② 質問3からは、90パーセントの回答者が施設に疑問をもっていることが分かります。『何故住宅密集地の坂本キャンパスに造るのか?』という計画当初からの疑問や、施設の安全対策・危機管理といったこれまでのメインテーマについて今もなお、住民が疑問を持ち続けていることが明確に表れています。

加えて今まで大学が回答を控えてきた事故発生時の「補償」「責任」といった問題に対する関心の高さが分かります。

- ③ 質問4からはこれまでの大学の説明が不安感を拭うには、不十分だったことが分かります。大学は、これまで説明会等で、『研究者が針刺し事故等で感染することはあっても、住民に感染拡大することはまずありえない。エボラウィルスは空気感染しないし、ウィルスは紫外線ですぐに不活化するから、住民の言っている事は杞憂に過ぎない。』といった説明を繰り返してきました。しかし、新型コロナウイルスに関する報道などに触れ、ウィルスが紫外線で簡単に不活化するという説明を信じることはできません。

このような絶対安全主義ともいうべき説明に終始し、万が一の場合の対策の策定を怠ったことが住民の不信感につながったのではないのでしょうか。

- ④ 質問5の9項目はすべて、私たちがこれまで、地域連絡協議会において繰り返し提言し続けてきた重要な課題です。長崎大学は、これらの住民からの多くの要望に、誠意をもって対応して下さい。

1. 安全管理について詳細で実践的な対策を立て、文書で示すこと

- ① 想定される事故と対応策(ア)
- ② 施設の安全管理と危機管理対策(ウ)
- ③ 緊急時の連絡方法を文書で示す(エ)
- ④ 緊急時の避難計画を文書で示す(オ)
- ⑤ 継続的な住民の避難訓練(カ)
- ⑥ 継続的な住民の健康診断(キ)

2. 住民に被害が生じた場合の補償内容を文書で示す(イ)

3. 住民との継続的なコミュニケーション

- ① 継続的に意見を述べる場を設ける(ク)
- ② 正確な情報開示を行う(ケ)

## 5. 長崎大学に対する要望

住民アンケートの分析からは、大学の安全性に対する説明に対し、住民が納得できていないことが伺えます。施設はそもそも安全なのだといくら説明されても、事故発生の確率が0になるわけではありません。0ではない以上、事故時にどのような対応がなされるのか分からずに安心してくださと言われても無理です。

安全管理や事故対策について、詳細で実践的な対策を立て、しっかりと文書で示してもらいたいというのが、アンケートの分析から分かる住民の意思です。そこで、大学に対して以下の要望を行います。

### ① 住民向け安全管理マニュアルの作成

今後、2021年の施設完成までの間に施設の具体的な運用、安全管理の方法について議論がなされていきます。住民の声に耳を傾けて、具体的で詳細な基準を持った住民の不安感を払しょくできる安全管理マニュアルを作成してください。そして、近隣自治会の住民に配布してください。

### ② 事故発生時の住民向けマニュアル

これまで事故が発生した場合の対応策については、ほとんど議論されてきていません。万が一の時にどうすればよいのか、どうなるのかが分からずに安心して施設の近くで生活することはできません。事故発生時の具体的な対応と十分な情報の開示とを内容とした、事故発生時の住民向けマニュアルを作成してください。そして、近隣自治会の住民に配布してください。

### ③ 事故発生時の責任の明確化と補償についての取り決め

これまで大学からは、事故が発生したときに、どこが責任をとり、補償をどうするのか、具体的な提案はありません。そろそろ、具体案を出してください。

### ④ 運用開始後の情報開示・意見交換・相互理解の場の設定

施設建設は、終わりではなく、これからの長い付き合いの始まりです。今後も住民との相互理解を深めるために、情報開示の仕組みをつくり、意見交換の場を設けるとともに近隣自治会住民に対する定期健康診断の無料開催など、不安を取り除き、相互の風通しを良くするための方法を検討ください。

## 6. 結び

今回の住民アンケートでは、『施設は必要かもしれないが、何故住宅密集地に造るのか？ 納得できるような回答は未だ得られていない』といった意見が非常に多く寄せられました。

長崎大学は、これまで住民の理解を得るための多くの説明会等を行い、最近では住民の理解も進んできている、と述べています。

しかし、アンケート結果から、多くの住民の方々が未だに疑問や不安、不信感を抱いていることは明らかであり、長崎大学の見解とは大きな乖離があると思われます。

計画をゼロベースで見直し、立地を変更するといったことが現実的でないとするならば、長崎大学は、少なくとも今回私たちが提言した要望事項について、これから十分な検討、議論を行い、その結果を住民に示していただきたいと思います。

このことが、大学と住民との良き関係をつくることであり、まさに、『合意形成をする』ことだと考えます。

自治会、住民の代表として、長崎大学の誠意ある対応を切に希望します。

## 7. その他

文部科学省の監理委員会へも本意見書を提出してください。そして、そこで議論された結果をお知らせください。

長崎県、長崎市は、長崎大学との三者協議会を通じて、今後どのようにBSL4施設の安全等に関与していくのか、その方針も示してください。

以 上

## 住民アンケート意見書

### 長崎大学の「BSL-4施設」建設についての自治会アンケート取り纏め表

|                             |                                                                   |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 1. コロナ感染拡大後のBSL-4施設への意識変化は？ |                                                                   |
| 1-① 変わった（具体的に）              |                                                                   |
| 1                           | ウィルス漏れの恐怖と不安                                                      |
| 2                           | 施設は必要 未来のために役立つ                                                   |
| 3                           | 必要かもしれない                                                          |
| 4                           | 今までも住宅地に建設するのはとんでもないことと思っていたが、それがさらに増した！！                         |
| 5                           | 薬やワクチンの開発、技術者の育成に期待することが明らかになった。                                  |
| 6                           | 民家のすぐ横に施設建設をする事について反対でしたがコロナのウィルス拡散でますます反対の気持が高まった。               |
| 7                           | ウィルスは恐ろしい事の再認識                                                    |
| 8                           | 目に見えないウィルスに、こわいと思ったため。                                            |
| 9                           | 未知の感染症に対する研究がまだまだ重要であることを実感した。<br>感染症に関する研究は自分たちにも関係しうるものなのかと感じた。 |
| 10                          | 必要性も感じた                                                           |
| 11                          | 目に見えないウィルスの怖さ、不安を実感                                               |
| 12                          | 感染症に対する最先端の研究が必要。長崎がリーダーシップを取って取り組んで欲しい。製薬会社などの誘致につなげてほしい。        |
| 13                          | 必要と思うようになった。<br>未知のウィルスが発生した時に研究、ワクチン開発を専門的に実施する施設は必要と感じた。        |



## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                        |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 14 | コロナでの長年の活躍。ランブ法（ウィルス検出）の開発、クルーズ船対応。専門家がいることの安心感。                                       |
| 15 | 薬やワクチンの開発を期待する                                                                         |
| 16 | 出入りする研究者の人達が感染した場合コロナみたいに人から人へ拡大すると思う<br>蚊や動物など外部に出た場合エボラ熱だったら蚊からでしょう 恐いですネ            |
| 17 | 更におそろしい！！不安。                                                                           |
| 18 | 新型コロナがもたらした災禍に、ウィルスの脅威tというものをまざまざと見せつけられた。<br>日本国内に存在しない、かつ致死率の高いエボラウィルスなど持ち込むべきではない！！ |
| 19 | 現実的に危機感を感じるようになった。                                                                     |
| 20 | まだ施設の受け入れの気持ちは持てませんが、必要なものかもしれないと感じる様になりました。                                           |
| 21 | 元から反対していないことは変わらない。                                                                    |
| 22 | やはり…武漢の施設からのウィルスの漏れでは…？という報道で凄く怖くなった。                                                  |
| 23 | 新型の感染症に対する研究と対応策の必要性を改めて感じた。                                                           |
| 24 | 長崎大学の感染症対策について見直しました。                                                                  |
| 25 | より危険な事が認識した                                                                            |
| 26 | 不安はありますが今後のためにもウィルスを研究する施設は必要だと思うようになりました。                                             |
| 27 | 以前よりこわくなった。                                                                            |
| 28 | コロナウィルスで制限がある生活をしたのにBSL4施設にもしものことがあった場合はどう生活していくのか、その場合の補償は？                           |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                         |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 29 | 施設建設についての考えは変わらない。<br>浦上地域全自治会がBSL-4施設建設に反対して7年の月日がたちますが、大学側、特に学長、副学長ともにおわびの言葉もない                                       |
| 30 | コロナウィルスの事よりも、BSL-4施設建設について町内皆様の力で又近隣浦上住民の力で勝ち取れなかったことが残念ですが（終わったわけではないですが）                                              |
| 31 | ウィルスの漏れの可能性のあること                                                                                                        |
| 32 | ウィルスの恐怖を改めて感じ、BSL-4施設建設に不安が募ってきた。                                                                                       |
| 33 | 住宅密集地に建設はしてはいけない。人工島など海を隔てたところに建設すべきである。長大の建設は中止すべきである。住民の命の優先がないがしろにされ、研究ありき建設ありきである。長大にBSL-4はいらない。非住宅密集地に作ればよい。止めてくれ。 |
| 34 | BSL-4建設は早く中止すべきである。と改めて強く思う。海を隔てた場所、すなわち島に建設すべきである。住宅密集地に作らせてはダメだ。                                                      |
| 35 | 目に見えない細菌やウィルスへの脅威を、今まで以上に強く感じるようになりました。                                                                                 |
| 36 | 増々危険な施設を建設していると認識し直した                                                                                                   |
| 37 | より作って欲しくないと思った                                                                                                          |
| 38 | ウィルスの感染力の恐怖を実感したので、研究所施設の重要性を実感                                                                                         |
| 39 | 広がる感染を抑止する研究をしてほしい                                                                                                      |
| 40 | コロナウイルスを全滅する研究をしてほしいが、場所は反対である                                                                                          |
| 41 | 少し怖い                                                                                                                    |
| 42 | 場所がおかしい                                                                                                                 |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 43 | 目に見えないウイルスは感染するとどんなに気をつけていても広がっていく、危険性の高い病原体を扱う施設が自分の住んでいる所にあると思うと不安になります。                            |
| 44 | より不安を感じるようになった。                                                                                       |
| 45 | もしもウイルスが漏れた場合、どうなるのかなと、とても心配になる。                                                                      |
| 46 | 感染症の権威がいるから長崎大学にというお話でしたが、クルーズ船が長崎に停泊した際に、県民すべてが恐怖感を抱いた感と相反する様が見られ、やはり長崎市内ではない郊外が望ましいと思う。             |
| 47 | 恐怖を感じた。安心、安全に暮らせない、もっと郊外に移転してほしい。                                                                     |
| 48 | 毎日の生活が恐怖で安心して生活できない事が何より不安です。                                                                         |
| 49 | ウイルスの脅威                                                                                               |
| 50 | 不安が大きくなった                                                                                             |
| 51 | 火元である中国の武漢には研究所があるので不安です。                                                                             |
| 52 | 感染症の専門家がいると、非常時の対応が速いのではないかと考えるようになった。                                                                |
| 53 | 武漢ウイルスと言うように、BSL-4施設からの感染は恐怖をおぼえる。                                                                    |
| 54 | 周囲の警戒心が高まることを期待しています。武漢流出説があるので。                                                                      |
| 55 | 研究して下さっていることは、本当に尊いことですが、一方でやはり研究員の方々の体調、ご家族の方々が心配になりました。しっかりと感染対策がなされたり、優遇して検査が受けられたりがあったらいいなと思いました。 |
| 56 | 感染症の研究、薬の開発は重要なことであると認識しました。が、立地に関しては、問題があるということは変わらない。                                               |
| 57 | やはりBSL-4施設から菌がもれる可能性があるので、建設反対に変わった。                                                                  |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                           |
|----|---------------------------------------------------------------------------|
| 58 | 以前から反対だし同じ気持ち                                                             |
| 59 | 目に見えないウイルスの感染速度に恐怖を感じており、BSL-4施設のような研究施設の安全対策が十分に講じられているのか？、改めて検証すべきと考える。 |
| 60 | 危機感、恐怖感が増した                                                               |
| 61 | 中国武漢のように施設が感染源（一部報道があったように）となると不安になる。                                     |
| 62 | ウイルスの感染拡大のスピードの早さと、それに対処することの難しさ。                                         |
| 63 | ウイルスの危険性、恐怖を改めて実感した。                                                      |
| 64 | 今回のコロナで、BSL-4施設などが必要なのかなと思いました。                                           |
| 65 | 以前よりさらに目に見えないウイルスの怖さが増しました。                                               |
| 66 | さらにリスクが高いものになると思った。                                                       |
| 67 | 益々危機感を抱くようになった。                                                           |
| 68 | 長崎大だけでBSL-4施設の管理ができない事を確信した。                                              |
| 69 | 新型コロナウイルスよりBSL-4がこわいと思う。                                                  |
| 70 | 今回の新型コロナウイルス漏れの元凶と疑われている武漢の研究所の存在を知り、恐さが増した。                              |
| 71 | ますます「危ないのでやめるべきだ」の気持ちが大きくなった。                                             |
| 72 | 怖い施設とは思っていたが、コロナをうけて「とてもいやだ」と変わった。                                        |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                  |
|----|------------------------------------------------------------------|
| 73 | 絶対作ってはいけないという気持ちは更に強くなった。                                        |
| 74 | 危険な動物実験施設であり、これまでも反対してきたが、新型コロナウイルスの感染拡大でますます危険性が増している。          |
| 75 | ますます強く反対意識を深めた。                                                  |
| 76 | 感染拡大に手も足も出ないことがわかった。危険性はすべて想定内だった。                               |
| 77 | 不安しかない！                                                          |
| 78 | もとより、危険と思っていたが、ウイルスの脅威をよりリアルに感じた。高齢者や病人は万が一の時、今回のコロナの犠牲者多数。      |
| 79 | 以前よりウイルスに大きな不安を持っていたが、コロナウイルスによって恐ろしさを知り、増々不安になった。               |
| 80 | 必要だと思った。                                                         |
| 81 | BSL-4施設そのものは必要だと思うが、市街地に建設するのはどうかと思う。                            |
| 82 | 不安！                                                              |
| 83 | より怖いものだと思った。                                                     |
| 84 | より危険性を感じるようになった。                                                 |
| 85 | このような時に必要なのかな。長崎大のオリジナル検査などをしていた？アピールしているようだった。でも住宅密集でなくてもいいよね！？ |
| 86 | 反対（建設）                                                           |
| 87 | より不安を抱くようになった。                                                   |

## 住民アンケート意見書

|     |                                                                |
|-----|----------------------------------------------------------------|
| 88  | より危機感が増大した。                                                    |
| 89  | より身近に感じるようになった。                                                |
| 90  | ずっと反対です。                                                       |
| 91  | 恐怖と不安が増々強まった。                                                  |
| 92  | 未知の感染症対策として研究する施設が必要である。                                       |
| 93  | BSL-4の怖さが更に分かってきた。                                             |
| 94  | 今回の私達の社会は疫病に対して脆弱で有る事が解った。                                     |
| 95  | 更に他人事でなくなった。                                                   |
| 96  | 感染症のこわさについて                                                    |
| 97  | 今からは必要かなと思いました。                                                |
| 98  | やはり、日本のセキュリティはあまい事が確認された。                                      |
| 99  | 今までは不安ばかりだったが、、コロナウイルスと言う目に見えないウイルスが出てきた事で、必要な施設なのでは？と思ってきました。 |
| 100 | 何かおきても、何も出来ないと分かったから。                                          |

## 住民アンケート意見書

|                  |                                                                                                                                                                   |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2. 施設に期待していることは？ |                                                                                                                                                                   |
| 2－① ある エ その他     |                                                                                                                                                                   |
| 1                | 安全性                                                                                                                                                               |
| 2                | 薬やワクチンの開発、技術者の育成に期待していることはあるが、もっと人里離れたところに建設するべき！！                                                                                                                |
| 3                | 施設に期待していることはある（薬やワクチンの開発）が、ただし不安である（安全性に！！）                                                                                                                       |
| 4                | 世界一の研究施設に育ってほしいと思っています。ノーヴェル賞が出る様な。                                                                                                                               |
| 5                | 施設に期待していることはない。<br>ここの地区でない所でしてほしい ← 民家・学校から離れる事                                                                                                                  |
| 6                | 施設に期待していることはない。<br>施設に期待することは、②ない、であるが、仮に研究を行うにしても、それは人道的なものに限られるべきである。<br>軍事につながる様な研究は（テロ対策など、いかなる理由をもってしても）、長崎市民として絶対に許せない。<br>そのようなことはしないと住民と約束できるか？大学の回答を求める。 |
| 7                | 薬やワクチンの開発、技術者の育成には期待しているが、あくまでもBSL施設という意味で、坂本地区に作るBSLという事ではない                                                                                                     |
| 8                | 施設は住宅密集地でない場所のできる。研究優先で建設地を選んではいけない。住民の命ファーストであるべきだ。                                                                                                              |
| 9                | 国民の健康（強いて言えばです）                                                                                                                                                   |
| 10               | 若者の勉学に対しては一種の効果を期待したい。                                                                                                                                            |

## 住民アンケート意見書

| 6. その他、ご意見 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1          | 武漢のようにならないように、対策を（安全、安心）講じて欲しい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定外の事が起きた時が困る。長大病院が近いので、ドクターヘリが事故を起こし、施設をこわすこともある。</li> <li>・減圧にしたり、何重もの管理をしても、それが絶対ということはない。</li> </ul> <p>落雷があり、電気系統が全てダメになったりすることもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とにかく、住宅地に建設することは絶対反対である。</li> </ul> <p>これは、この近辺の住民だけの問題ではなく、長崎市民、県民の問題である。何か起こった時は、長崎はコロナどころではなく風評被害他で、とんでもないことになる！！！！</p>                                                                           |
| 3          | 何が起こるかわからない、未知の施設であることから365日24時間体制で責任者（プロパー職員であり委託の警備会社ではなく）が常駐し有事に即応できるようにすべき。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 4          | <p>安全管理が組織的にもしっかりしている原子力発電所でさえ、大事故を起こしたのに、一大学で安全管理がちゃんと出来とは思えない。</p> <p>このような町中に、BSL4施設を作るという発想自体が危機管理能力の無さを示しているように思える。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 5          | <p>この先も人類におそい掛かるであろう、ウィルスとの戦いを考えれば、世界一と賞賛される、日本の建築技術を持って作られる立派な研究施設を長崎にと思って居ります。</p> <p>客船、コロナでも長大熱研の先生方が活躍されました。誇らしく思いましたよ。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 6          | <p>エボラウィルス等、日本にないものをわざわざ日本に持ち込むのが解らない。現地で研究する事が一番だと思います。</p> <p>今のコロナの広がりを見ていたら、国や税関、空港、保健所、専門家等、民間より劣っている点が多く見受けられる。</p> <p>この様な時代にこの地に持って来てほしくない！</p>                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 7          | <p>BSL4の建設は必要なことだと感じている。</p> <p>①長崎大学が担うべき責務である。</p> <p>②感染症は長崎大学における強みの1つである。</p> <p>③強みのある大学がなければ（大げさでなく）</p> <p>→ 大学の存続 長崎の就職 長崎の経済・発展に直結していくと思われる。</p> <p>コロナで安全策を重要視してきたことでこれまでの感染状況はまもられてきた。</p> <p>ただし、安全策のみとっていると、長崎の経済は立ちゆかないとも感じている。</p> <p>子供達を守るためにBSL-4を回避することが、最善策なのだろうか疑問に思う部分がある。</p> <p>私達住民がBSL4を回避するならば、長崎大学&amp;長崎を発展させる（存続させる）対策をうつべきである。個人的には代替案がない。従って、安全性の不安などリスクももちろんゼロとはいきれないがBSL-4建設自体は必要なことだと考える。</p> |



## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8  | 施設と地域は長く付き合っていないといけないのだから、その間一方的に不安や不信を与えるのではなく、何らか住民が得られるメリットはあるべき。<br>5. キの健康診断というのは、一つの方法として良いと思う。                                                                                                                                                                                                                        |
| 9  | 大学への要望として、自衛隊が守って欲しい                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設が重要（必要）である事は理解しているが、住宅密集地に建設する理由を説明して欲しい。人里離れた場所にできなかったのか。</li> <li>・テロ等の悪意を持った人が、ウィルスを持ち出し拡散させる恐れはないのか？</li> <li>・事故によるきちんとした補償があれば建設してもよいと思う。</li> <li>・長崎市は人口減少の問題もあるので働き場所を確保する意味でも必要と感じる。</li> </ul>                                                                          |
| 11 | 人災がこわい。（人的ミス、管理の問題、テロ）<br>チェック機能がどのようなかたちで働くのか。                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 12 | 不安は変わらない。<br>住環境の付加価値に対しても気になる。                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 13 | 既に建設中なので反対の横断マクは取りはずすべき、建設を応援したらどうか！！                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 14 | 私達夫婦は高齢者なので長く住みませんが、ここのマンションには、子供さん達が多くたぶん住んでいるのでやはり、施設が完成していざ稼働となった時、事故が一番心配です。<br>大学側には人命を一番に考えてほしいと思っています。                                                                                                                                                                                                                |
| 15 | 反対意見を言うと、嫌がらせをさせるのではないかと心配です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 16 | <p>作ることを反対している訳ではなく、場所を考えてほしかった。<br/>住民、大学の職員 学生のことを思うと心配、不安でたまらない。<br/>すでに着工しているので、今更やめることが出来ないのであれば、いつも、絶対にありえない！！と言われて はっきりと答えてくれない万が一の時の対策をくわしく文書にて示してほしいです。今の時代 完璧はありえません。</p> <p>想定内ばかりではなく、想定外のことも考えて話してほしいです。不安でたまりません。<br/>テロは命がけです何をするかわかりません！テロが一番心配です。</p>                                                       |
| 17 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎大学の計画発表時（BSL4施設の坂本キャンパスへの建設）から、住民として反対する気持ちは変わらない。（研究の是非ではなく、住宅密集地に造る事に反対である）</li> <li>・多くの住民の反対を無視して、長崎大学は建設に着工、工事は着々と進んでおり、来年には完成するという。</li> <li>・その一方で、施設の安全管理、事故対応、及び万が一の時の補償内容についてはまったく聞こえてこない。</li> <li>・長崎大学は、これらの山積した課題を解決できるのか。もしできなければ、施設を稼働する事は許されないのではないのか。</li> </ul> |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 18 | <p>ウィルス感染拡大のニュース等を見て、先ず感じた事が、BSL4施設のあるこの街は武漢のようになり得るという恐怖感！！</p> <p>大学側の説明会では、空気中のウィルスは「太陽光紫外線で直ちに死滅するのだ」ということだった。</p> <p>この説明を折りにふれしてきた大学（死滅しないウィルスがある事は分かっていたはず）この事一つをとっても大学に対する不信感はますます募る。</p> <p>住民との要望（確約）事項を設定し、きちんと約束できるまでは稼働させるべきではないと思う。</p>                    |
| 19 | <p>建設自体はよほどの事がない限り、今さら白紙になる事はないのだと思う。</p> <p>であれば、建設後の安全に対する全般をしっかりとった上で、事前に万が一の際の補償の内容と責任の所在を明確にしてほしい。</p> <p>東北大震災の時がそうであったように１００％の安全などありえない。</p> <p>「絶対に安全をおびやかすような事がないように万全の対策をとっている」等の絵空事のような説明はいらない！！</p>                                                          |
| 20 | <p>最近のコロナウィルス対策などに何か、役に立つことがあるのでしょうか？</p>                                                                                                                                                                                                                                |
| 21 | <p>５－①</p> <p>施設を建設してほしくない。</p> <p>住宅密集地にわざわざ造る必要はないのではないかな。</p> <p>情報系の学部を大村市に移転させるのであれば、現地に固執せずに住民の危険性が少ない人家から離れた場所に設けてほしい。</p> <p>長崎大学の存続のために近隣住民を巻き込むのはやめていただきたい。</p> <p>施設の意義と設置場所をどこにするかは別問題。</p> <p>一体化が望ましいと主張するのであれば、病院機能の一部も一緒に切り離して、別の場所に研究施設を設けたら良いと考える。</p> |
| 22 | <p>不動産の価値が下がった場合、大学が責任をもって補償してほしい。</p> <p>（施設を建設することでマンションの価値が下がることが予想される）</p> <p>その場合、どういう考えをもっているのか、文書で示してほしい。</p>                                                                                                                                                     |
| 23 | <p>この地区の住民に施設の公開（完成してすぐ）とかは無いのでしょうか？</p>                                                                                                                                                                                                                                 |
| 24 | <p>安全を重視していただきたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 25 | <p>・学長が私財を投げ売ってでも「BSL4施設を建設したい」「住民への補償をしたい」という気概がまったく感じられない。</p> <p>・感染拡大、事故を目論む悪意のある者を阻止できるのか不安。</p>                                                                                                                                                                    |
| 26 | <p>本当に大変なことだと思います。</p> <p>どうぞ宜しくお願い致します。</p>                                                                                                                                                                                                                             |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 27 | <p>①人が管理する事であり、完全に絶対はない<br/>         ②BSL4は必要ないと聞いている<br/>         ③人間は自分の立場を考えて常にかくそうとする<br/>             ↓<br/>         ④チェックする外部機関が必要</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 28 | <p>施設の必要性を感じるようになりました。両方歩みよらなければと…<br/>         他の場所でも、という思いはありますが、長崎の経済を考えるとこの場所でもしかたがないのではないのでしょうか。<br/>         このままでは長崎はどうなってしまうのでしょうか？<br/>         誇れるものがあつたら良いと思います。<br/>         薬やワクチンの開発、未知のウィルスの研究など…様々な期待をしています。<br/>         そのためにも施設の安全管理や何か起きた時の補償などはっきりと示して欲しいです。</p>                                                                                                                                                                                          |
| 29 | <p>自治会住民の声を無視している大学側の態度、<br/>         住民の方に対してお詫びの気持ちもないのですか、<br/>         爆心地の住民の方々に対しても申し訳ない気持はないのですか</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 30 | <p>BSL-4施設建設問題から早7年の月日が過ぎ去ろうとする今日、建設が進んでることに憤をおぼえます</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 31 | <p>クルーズ船での、コロナ終息についての長崎大学の貢献は承知していますし、感謝しますが。<br/>         施設については別問題のことだと思っています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 32 | <p>・「BSL-4施設」は2021年7月に完成予定と聞いておりますが、大学に対して⑤の要望事項は厳守して頂きたいと思います。<br/>         ・これまで活動に携わってこられた皆様に感謝の気持ちを申し上げます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 33 | <p>新型コロナウイルスの猛威により、人々の暮らしはすっかり変わってしまい、目に見えないウィルスの恐怖におびえています。BSL4施設は、わざわざ特定地域の風土病であるウィルスを持ってきて研究するものです。今はエボラウィルスの研究よりもコロナウィルス感染の収束を目指して、短時間でのPCR検査、ワクチン、治療薬等の開発に力を尽くして人命を救ってほしいと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 34 | <p>新型コロナ感染症で、①防ご服もN95マスクも足りず感染防御は不十分であること<br/>         ②医師も防ご具の装着すら知らず、あわてて長大病院がNEB講義するおそまつぶりである。③知事は何もしなかった。おそまつな国の方針を待っただけ。情報も把握していなかった年寄りである。BSL-4からの病原体ろ出は起こり得ます。起こっても何もできません。コロナで十分解った筈です。司法も勉強不足。判断するに値しない知識しかもっていないと言わざるをえません。</p> <p><u>命ファーストでいくべきです</u> 日本は海外から入国すらshut outしなかった。資源の無い島国はshut outしなくても、日本がBSL-4病原体が強く感染が広がると諸国は日本からの入国はshut outします。敗戦した時のABCD包囲網と同じで、日本は追い込まれます。必ずです。それではダメなんです。コロナで唯一成功したのはニュージーランドだけです。日本は入国を止めなかった。だから3種類ものコロナウィルスが感染拡大したんです。</p> |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 34 | <p>長大病院にBSL-4を建設させたらダメです。作るなら人工島などにBSL-4建設すべきです。<u>海をはさむべきです</u> 国策を御旗にかかげられても。病原体に何もできないんです。死にます <u>それでは遅すぎです</u> 早くBSL-4建設を中止させるべきです。 <u>稼働させてはなりません</u> 日本の西の端でなくていいんです。共産国からの攻撃に近いんです。海をはさむべきです。人工島につくるべきです <u>住宅密集地にBSL-4を建設したらダメです</u></p> <p>病原体が漏れてもわかりません。コロナも感染したかどうかは検査するまで判断できません。無症状感染者もスーパースプレッダーも区別できません。感染は止められないんです。防ごうと不十分なんです。核と同じです つくらない。もちこまない。もちこませない。なぜ人が困ることをするのか。完全に防御できないものを住宅密集地につくってははいけません <u>もし作るなら海をはさむべきです</u> 研究者が仕事をしやすい場所を最優先し建設させてはダメです。</p> <p><u>住民の命ファーストであるべきです</u>。長崎コロナが起きても河野学長も調も出てこない。熱研とセンター長が対応をただけです。 <u>BSL-4事故に対する 責任の所在を明文化すべきです</u>。 病院、医療崩壊します。 <u>コロナよりもBSL-4施設による感染拡大は人災として初めから責任をとらせる文書をつくるべきです</u>。人災ですよ。防ごうと不十分。感染場所も不十分。治療も不十分で完治できない。そんな病原体を住宅密集地にBSL-4をつくり扱ってははいけないんです</p> <p>早くBSL-4建設を中止すべきです。 <u>稼働させてはダメです</u>。海をへだてた場所につくり直すべきです。 <u>やり直します</u> 司法判断者はもっと勉強すべきです。判断させるに適した人材なのかのテストを受けさせるべきです。まずは資質評価ですよ <u>初めからやり直し</u>。 <u>住民の命ファーストでいくべきです</u> <u>BSL建設は中止です</u> <u>BSL-4を稼働させてははいけない</u></p> <p><u>海をへだてた場所にBSL-4をつくり直すべきです</u> 命ファーストとして <u>今</u> 感染拡大したら、何も防御できません。そんな状況でBSL-4を建設したらダメでしょう。長崎県民はバカか。 目を醒ませよ！！</p> |
| 35 | <p>研究者が働きやすい場所にBSL-4を作ってはダメだ。人命密集地に作らせてはいけない。感染防ごうとN95マスクもない。感染診断すらできない。感染経路不明として処理させてはダメである。診断検査も確立されていない。無症状感染者が感染拡大させるスーパースプレッダーがいると大変である。治療もできない。観光地ではなくなる。原爆に続き負の遺産となるリスクが高すぎる。もちこんではダメだ。もちこませてはダメ。稼働させてはダメです。</p> <p>BSL-4建設は今すぐ止めさせるべきだ。人命密集地で研究、開発する必然性は何一つない筈だ。人工島でやれよ！！ 安全は確保されていない。不足不備がある。致死率が高い病原体である。死に至ります。死に至りうる病原体はもちこんではいけない筈だ。人工島ですればよいだけだ。命ファーストがなぜできないのか。金が動く名誉のためか！！ <u>3密を避けるのが徹則</u> 住宅密集地、人命密集地にBSL-4を作らせるな！！</p> <p>病原体をもちこませるな！！ 防ごうとN95マスクも不足不備である。感染防ごうとできません。安心も安全も確保できていません！！ 無防です！！ <u>人災を意図的に起こすことは許されない！！</u> 人災を計画 指導 実践する者たちをリストに書き上げ、責任を明文化することが必要である！！</p> <p>ヒューマンエラーはゼロにはできません。100%安全はないんです。致死率の高い病原体を人命密集地にもちこんではならない。非人道である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

## 住民アンケート意見書

35

命を最優先にすべきである。研究は海を隔てた人工島にカネをつかって作ればよい筈だ。住民の命をおびやかしてまで密集地でやる必然性はない筈だ。建設したいなら人口島につくれよ。海を隔てるべきだ。長大にBSL-4建設をさせてはダメだ。早く中止させろ！！稼働させてはダメだ。

医師も研究者も防ご服の着脱すらしないことがコロナで実証されました。

そんなレベルの人達にBSL-4病原体を扱う資質はありません。

この状況でBSL-4を建設するなよ！！

想定外のことが起こるんですよ。人間の考えつくものは限られている 歴史が証明している筈だ。危険なものを持ちこんで起こったことは全て人災ですよ！！

これだけ反対している 人命を死に至らせうる病原体をわざわざ反対を押し切り横車を押して無理やり建設したのである 事故はすべて人災ですよ。

人災としての責任を明文化すべきです。病原体感染証明もできず どんな症状がでるかもわからず、被害範囲などわかるはずがない。

レスキューできないことは初めからしなさんな！！責任とりきらんことは しなさんな！！ 防ご服もない ワクチンもない 治療もできない 早くBSL-4は建設中止させろ つくるなら人口島をつくってそこに作れ。海をはさむべきだ。人工島に研究者が行けばよいだけだ 誰も反対しませんよ。したいだけ研究したらよいではないか。住民に迷惑をかけてまでして人命密集地で研究しないでくれ 迷惑です！！

他人の生活、安心と安全を奪う権利はない筈だ。非人命密集地 人口島を作ってそこにBSL-4を建設すればよいだけだ。それは誰も反対しません。

しかし人命密集地にBSL-4を建設してはならない。早く中止させろ！！ 稼働させてはならない！！ 原爆で傷ついた人に何を補償できるというのか。 命は1つです。 人生も1日限りです。他人がいやがることはするな！！ 他人の命を犠牲にしてまで研究しなくていいよ 迷惑です！！ 致死リスクの高い人災行為は止めろ！！ もちこんで起こる事故は意図的人災の確信犯である

命ファーストでいくことである。住民の命を第一に最優先に考えるべきである。事故が起きてから 平和、安全、安全を考え直すやり方はダメである。

平和、安心安全が感じられる 今 考えるべきである。BSL-4建設は取り返しのつかないことだからである。そのためには、BSL-4を長大に建設させてはならない。建設は今、直ちに中止すべきである。絶対に稼働させてはならない！！ 間違いは、すぐ改めるべきである。

間違いを知りつつ 迷いながら計画を続けてはならないのである。勇気を出して良心に従いBSL-4建設を中止すべきである。

BSL-4病原体は診断も治療も予防もできません。人の命を奪うもの、人を殺す病原体です。住宅密集地で取り扱うべきものではない筈です。

正直に誠実に行動を考え直すべきです。建設しなればよかったと後悔しない ために考え直すこと、BSL-4建設を中止することです。

建設しなければ 何も起こらない筈です。持ち込んではいけません。

持ち込んだら人災を起こします。 人が死にます。

BSL-4は海を隔ててBSL-4施設全体を解離出来る場所に建てるべきです 国策を御旗に間違いを横行すべきではない。

勇気をもって正しい道に方向を転換すべきである。

人としての良心をみせてもらいたい。

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 35 | <p>新しい生き方を考え直してもらいたい。グローバル化を揚げたやり方の弊害が問題を大きくしている。片峰も河野も調もグローバル化の先頭でカジを取ってきた連中だ。コロナ騒動では何1つ対応も責任もとらなかった。BSL-4病原体による感染拡大は絶対ゼロにはできない筈だ。責任の所在を明文化すべきである。責任をトカゲのしっぽ切りにさせてはならないのだ。</p> <p>一番よいのはBSL-4を建てないことだ。住宅密集地でなく海を隔てた場所にすべきである。早く考え直せ。良心に従えば建設を中止するしかない筈である。なあなあで計画を続行し続けてはダメである。</p> |
| 36 | <p>新型コロナウイルスの蔓延により、制限のある不自由な生活を強いられたことをもう一度思い返し、長崎県民、長崎市民には、BSL-4施設で行われる実験・作業・ウイルスの危険レベルを真剣に考えて欲しいと思う。</p>                                                                                                                                                                           |
| 37 | <p>建設予定地は原爆被爆の中心地であり、二度と被害が出ないように願います。その地への建設には驚いております。完全な対策をお願いします。医学的開発はその先の問題と思います。</p>                                                                                                                                                                                           |
| 38 | <p>即刻、無人島等の感染リスクの低い場所へ移設して下さい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 39 | <p>新型コロナウイルスで世界はいろいろな事で影響を受けています。目に見えないウイルスと向き合っています。生活様式も変わってきています。それより極めて高い感染症の病原体、その危険性を施設が出来ると毎日のように不安に思いながら生活しなくてはなりません。住民の不安な思いを理解していただき、住民の声を聞き、大学には住民の納得する説明を示してほしいです。</p>                                                                                                   |
| 40 | <p>基本的には、計画の変更、現在地での建設中止と住宅密集地でない場所での建設です。</p>                                                                                                                                                                                                                                       |
| 41 | <p>新型コロナウイルスの出現で社会生活が一変してしまったことで、目に見えないウイルスに対する恐怖を改めて思い知りました。BSL4施設は致死率の高い危険なウイルスを扱う場所であり、その施設が100%安全と言えないのであれば、建設場所を再考する必要があると思います。国策だから何かあれば国が対応するといわれていますが、今回の政府のコロナ対策、イージスアショアのうその説明などを見ても、全く信用できません。地方の住民は切り捨てられるのではないかと不安しかありません。</p>                                          |
| 42 | <p>エボラこわいです。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 43 | <p>万が一、ウイルスが漏れた場合を考えると、住宅地に施設を建てるべきではないと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                      |
| 44 | <p>施設での研究内容を管理する外部からの委員会が必要だと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                 |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 45 | <p>今回の新型コロナウイルスで、不顕性感染の恐さを実感した。研究の為に弱毒化したウイルスであっても、外に漏れるような雑な管理をすると、免疫力の差でヒトが「人為淘汰」されることを忘れてはならない。</p> <p>デュアルユース（軍事と民生の両方に使用できる技術のこと）のガイドラインをちゃんと作成することが大事。①研究者のバックグラウンドのチェック項目 ②研究テーマが軍事的なことに関係しているかのチェック項目 ③研究費が防衛省から出ていないかどうかのチェック項目</p>                                                                                            |
| 46 | BSL-4施設に関しては、医学の発展を考えると反対ではないが、施設の建設場所については、熟慮して欲しかった。今後は、事故対応、安全管理、補償等を文書化することを徹底し、住民の不安を取り除くため、説明と同意をとれるように努力して欲しい。                                                                                                                                                                                                                   |
| 47 | 住宅地、小学校等がある地域での建設に理解できないし考えられない。事故が絶対無いとかの想定での建設としか考えられないし、傲慢である。                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 48 | 施設で働く人の種類（学生、研究者、教授等）又、外国の人等、具体的にわかる範囲で。いろんな人が出入りするのが心配、管理がおろそかになる。                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 49 | 東日本大震災の時も、福島原発の安全が問われて来たが、「絶対」とは言いきれないと確信した。安全神話は崩れ去った。「想定外」とかたずけてほしくない。                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 50 | <p>今回のクルーズ船のことでは、熱研が活躍したので熱研のいいところだけ見てBSL-4を容認支持する人が増えるのではないかと心配。</p> <p>震災や津波の時間、犬を抱いて助けを呼んだり、ペットがいるので避難所に行けない人の映像をTVでよく見ます。（なぜならペットも家族の1員という時代だから。1人暮らしのお年寄りにはペットが唯一の家族支えで生きている人を多数見てきました。）私もその気持ちがよく理解できます。だから「避難しなければならない状況」にならないようにすることを大前提として、安全対策も徹底して欲しいです。4のア、イ、ウイルス漏れ、感染動物の逃走がないように、どういう安全対策をしているか、皆が（住民）納得できるように説明して下さい。</p> |
| 51 | 住民の人にもっとどの位安全に対策がとられてるのか、真実な誠意ある説明会があれば助かります！！                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 52 | 武漢でも同様な施設からコロナがもれたと言われているので、建設に反対する。もしもれたら、原発事故の時のように家や仕事を失くしてしまう。                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 53 | コロナのことでBSL-4施設を作るに当たり、無条件に賛成する人が増えてしまうことに不安を感じます。                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 54 | 正しい情報が欲しい！1、ウイルスの種類 2、安全対策 3、誰にでもわかる説明も必要                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 55 | <p>BSL-4施設のような研究施設の必要性については、医療の発展、新薬やワクチンの研究開発のために理解できる。しかしながら、住宅密集地である坂本キャンパスに建設する必要性、妥当性については、全く理解できない。</p> <p>COVID-19の感染が拡大している現況下では、BSL-4施設の建設に対する近隣住民の不安や精神的苦痛は更に大きくなるものと推測する。建設を急ぐ前に、近隣住民の理解、了承を得るための、大学側の真摯な説明や情報提供を求めたい。</p>                          |
| 56 | BSL4施設建設の中止                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 57 | 大学に要望することは、住宅地に建設しないで欲しい。リスクの少ない過疎地に作ることはそんなに難しいことではないと思う。国策なら、万全を計るべき。                                                                                                                                                                                        |
| 58 | 住民への緊急時の対策処要項を施設完成前に周知徹底してもらいたい。                                                                                                                                                                                                                               |
| 59 | 新型コロナウイルス感染拡大をうけて、ウイルスの恐ろしさと身近な問題であることが分かりました。緊急時、私たちはどうすればいいのか、どこに避難すべきかをしっかり安全対策として知る必要があるので、このような施設を住宅密集地に造っている以上、住民に対して危機管理対策や避難計画を、だれにでも分かるように示してほしい。                                                                                                     |
| 60 | 坂本設置が妥当とする、田上市長の根拠を知りたい。                                                                                                                                                                                                                                       |
| 61 | <p>人的ミスは100%否定できない。大学に要望することは、施設の計画を白紙撤回してほしい。</p> <p>「我が国のバイオセーフティーレベル4（BSL-4）施設の必要性について」（2014、3、20 日本学術会議の提言）を関係各位に熟慮頂きたい！</p>                                                                                                                               |
| 62 | <p>人間がやることに絶対安全は言えないと思います。以前参加した説明会で、そう（絶対安全）言われましたが、リスク管理への説明が不十分でした。全く誠意が感じられませんでした。</p> <p>この平和を引き継いでいかなければならない地区に研究施設を設立することが、理解できないです。住民の危険ばかりでなく、世界遺産、平和遺構施設も存続できなくなると思います。古い建物を簡単に破棄すべきではありません。古い物は古いものとして残すべき。先人たちの遺産です。</p> <p>この地区での施設の運営を反対します。</p> |
| 63 | 人為ミスが100%ないと言えないのに、住宅地に造ることが無茶な計画。日本は何かあったときの情報開示が遅いため、対応が後手になる。何かあればすぐ「想定外でした」と逃げられます。                                                                                                                                                                        |



## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 64 | <p>今回、コスタアトランチカの感染であたかも長崎大学が単独で感染を制御したかのような報道がなされたが、事件が勃発した時にまず県知事が出した指示は、D-MATの要請と自衛隊の派遣依頼である。陣頭指揮は厚労省クラスター班の鈴木基医師がとった。長崎には感染症の専門家が非常に多く、管理能力（BSL-4の）が高いと言われていたが、いざとなると県外の専門家に頼らざるを得ない事が浮き彫りになった。大阪府が独自にコロナ対策を進めているのと好対照である。今後、BSL-4の長崎大学での運営は難しいのではないかと不安である。</p> <p>コロナワクチン開発もできないのに施設を作る意味があるのか。</p> <p>唯一LAMP法による診断キットを作ったが、キャノンとの共同研究で同様のキットは既に10種類弱もあり、他社製では保険収載されたものもある。長崎には感染症の専門家が多いという話は信じ難い。</p>                                                                                                                                                                                                                               |
| 65 | <p>中国の武漢の研究所との安全性の違いを詳しく説明してほしい。研究は必要だと思いますが、これだけ安全性を主張するなら、東京大学のど真ん中の最も便利の良い場所で研究して欲しいと思います。</p> <p>長大も、市も、県も信用できません。研究者が何らかの理由で勝手に持ち出す事も考えられます。対処方法は考えてあるのでしょうか？（これは、数年前、ドラマにもなっています）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 66 | <p>ウイルスは人の目には見えず、施設をからの漏洩を直接、監視・確認することができない。新型コロナウイルスのように不顕性感染のするウイルスも存在し、この度の感染症も、感染したことに気付かないまま軽症者や不顕性の人達が出歩き、感染が拡大していった。その結果として、医療崩壊寸前まで起きた。</p> <p>新型コロナウイルスのようなRNA型遺伝子を持つウイルスは、その増殖時に遺伝子情報の転写ミスが発生しやすいので、BSL4施設で扱うウイルスでも増殖途中で変異し、例えば、不顕性感染しないウイルスが不顕性感染するものに変異するなどの危険性が否定できない。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大をみると、BSL 4 施設が設置されている国々でも感染が拡大しており、BSL4施設は、ウイルスの感染拡大の防止には、直接、役には立っていない。つまり、BSL4施設近隣の市民にとって、BSL4施設が住宅密集地にある必要性はおろか、メリットすらない。</p> <p>これらのことから、大学の発展という目先の利益の追求のために住宅密集地にBSL4施設を建設することは、あまりにも利己主義が過ぎると言わねばならない。研究とは無関係の市民の命と引き換えにすることは許されない。</p> <p>人類の存続を考えるなら、住宅密集地から離れたところで、国全体・世界全体で研究することが、真のグローバル化。『一旦立ち止まる勇気を持って、考えて欲しい。』</p> |
| 67 | <p>施設がつくられても、安全性が確保され住民の同意が得られるまで、稼働しないでほしい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 68 | <p>薬やワクチンの開発や技術者の育成は必要と思うが、日常的に医学部でなされるべき。わざわざBSL4を口実にしないでほしい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 68 | <p>ウイルスや細菌の専門家たちが危険を冒してまでも研究しようと思うのは、この事業にはお金がついてくるからだと思う。まさに「御用学者になりはてる」だ。大学側のすべき事は、研究にふりむけられる予算を十分に獲得することのはず。今、コロナの渦中であって、細菌等の専門学者たちのすべきことは、国民をコロナから守るための研究とその成果を早く出すことではないのか。</p> <p>日本で広がりそうもないアフリカの菌などを研究するより有意義。現地に行つての研究ならまだしも。かつて「研究」と称して戦時中に中国で人体実験を行ったのも医学者たち。医学は平和のためにこそ寄与すべきだと思う。731部隊の教訓は医学者やそれを動かす政治家が絶対に忘れてはならない（特に長大は）ことだ。現在の知識や技術を駆使して、コロナとの平和的共存の為、がんばってほしい。</p> |
| 69 | <p>日本にいない菌を持ち込んで研究がなされると聞きました。事故がおきないという保障はないのでとても怖いです。長崎から出て行かなければならないでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 70 | <p>菌を他国から輸入してまで長崎の施設でするのはおかしい。</p> <p>緊急時の住民の安全な暮らしをどうやって守るのかを知りたい。避難させて隔離する方向での計画はごめんです。</p> <p>研究の内容・現状は論文で常に公開してほしい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 71 | <p>エボラウイルス等の実験施設は世界規模で作るべき、なぜ長崎大学なのか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 72 | <p>長崎医大の施設での研究は反対！薬やワクチンの開発も技術者の育成も当方（当地）で努力して成果を上げてほしいこと。</p> <p>5の内容は施設が出来てしまつてからの要望ととらえます。施設そのもののありように反対です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 73 | <p>施設稼働を許すことはできません。</p> <p>内外の研究者が多数参加する訳で全てコントロールできない。研究費は国の予算から出る。その予算の獲得の為にヒモつき予算を得ようとする。その結果、馬の前につるされたニンジン欲しさに研究が軍事的意味をもつものに変容しやすい。そのことにブレーキをかけることは不可能だ。（予算欲しさに軍事研究に走るとのこと）</p>                                                                                                                                                                                                |
| 74 | <p>住民の合意もなく、情報開示もなく、絶対安全もない、施設建設及び稼働はストップすべき。今回の新型コロナより強毒のウイルスをわざわざ国内に持ち込んで実験するなど、言語道断です。遺伝子操作の実験で、どんなウイルスが生まれるのかも恐いです。長崎に何の愛着もない名誉欲にかられた人たちがやってきて、どんな実験をするのかわからないと思います。</p>                                                                                                                                                                                                       |
| 75 | <p>私達夫婦は高齢であるが、子や孫が近くに住んでいて、万が一のことがあったらと不安です。この不安が一つ一つ解消されますよう、いろいろな機会に事故その他の対応策を具体的に示して欲しい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 76 | <p>研究対象のウイルス（BSL-4に保管しておくウイルス）を、導入する前に住民に示して欲しい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 77 | 今回の新型コロナにより、長崎県知事、市長の対応の悪さが目立ち最低だった。長大の対応がどうなるのかはわからないが、県や市のトップがあれば安心できない。責任所在もわからない。                                                                                                                 |
| 78 | 情報公開の不足。リスク管理をきちんとして欲しい。                                                                                                                                                                              |
| 79 | 研究内容を公開すべき。扱っている病原体を公開すべき。                                                                                                                                                                            |
| 80 | 最近の説明会には行けてませんが、以前、何度か行かせてもらった時は、失敗しません、しても自分達は安全です、としか言っていないように聞こえ、住民のことまで考えているように受け取れませんでした。長崎大はDrXの米倉涼子さんみたいな方ばかりなのではないでしょうか？北朝鮮情勢などもあり、近隣にあることはやはり不安ですね。長年携わって下さる皆様、いつもありがとうございます。また、よろしくお願い致します。 |
| 81 | 人のミスが一番危ない、「絶対安全」はない。大学に要望することは、建設をとりやめてほしい。                                                                                                                                                          |
| 82 | 今回のイージスアショアの建設中止の件もあり、計画中止の選択肢も再考してもらいたい。                                                                                                                                                             |
| 83 | 長崎大学は地方の地域大学であり、地域の住民（市民）と共に歩むべく教育機関ではないのか？地域の住民（市民）の健康と生命を脅かすこの施設、この地区に生活している住民としては、長崎に常に不信感を禁じ得ない。学者、研究者のエゴ、利己的な考え方で地域住民が何で犠牲にならなければならないのか。理解に苦しむ。                                                  |
| 84 | 大学も住民の皆さんに真実を正直に話すべき時期が迫っている。建屋が出来上がったので、既成事実にするのはひきょうである。市民に対する背信行為に等しい。住民の皆さんの信条を更に深く掘り下げて吟味すべきである。周知、PRの方法を今一度考慮すべきである。                                                                            |
| 85 | 今、私達は新型コロナウイルス（疫病）の猛威を経験する中、今日の社会は疫病に対して脆弱で有る事が解った。私達はこの新型コロナウイルスを知り反省する時、BSL-4を脆弱な市中心部に設ける事は極めて危険で有る事が改めて解った。族長は今回の反省を踏まえ、民の安心安全を最優先に再考すべき時。                                                         |
| 86 | 長崎大学医学部は原爆で大勢が犠牲になっている。今は核兵器廃絶研究所を設けて核廃絶を訴えている。核兵器は抑止力になっているという。核兵器必需論を偶発的な事故が起こりうることも理由にあげて抑制している。それとこの施設が安全（絶対に事故は起きない）と、住宅地に作ことの矛盾が、なぜわからないのだろうか？                                                  |

## 住民アンケート意見書

|    |                                                                                                                                                                                                 |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 87 | 。おおかたの市民が建設反対する中、無視同然のように建設着行された大学の姿勢にア然としている。私達が心配する疫病流行が目の前でおこりました。ここ歴史ある平和で美しい街の長崎がコロナ発生の源の街、武漢の二の舞いにならないか心配している。後日の長崎の姿を見せられるようです。第3番目の国策による大悲劇の街にならないように研究施設の建設は中止して欲しいです。ウイルス輸入はもってのほかです。 |
| 88 | 新型コロナの目に見えない病原菌と同じようなものが、大学内にあると思うと恐怖。                                                                                                                                                          |
| 89 | 何があるかわからないので、何事も隠せないような誰もがすぐ分かるようなシステムにしてほしい。                                                                                                                                                   |
| 90 | 机上の空論で安心安全を伝う医者 of 気持ちが判らない！<br><br>医者・学者達の身勝手な都合で、町中にウイルスの研究施設を作るなど気が知れないし、それを許可する市や県の間人もどうかしているとしか言えない。「お前達は、バカか？」である。                                                                        |
| 91 | 技術力を過大評価しすぎて、ほんの小さなミスで、取り返しのつかない事がおきても”想定外”のひと言で、済ませるのではないかと心配しています。                                                                                                                            |

(令和 2 年 10 月 14 日 第 32 回地域連絡協議会)

○ご質問・ご意見

氏名 ( 梶村龍太、道津靖子、神田京子 )

前回の地域連絡協議会（第 31 回）の議題「住民アンケート（2020 年 6 月実施）の結果報告及びアンケート結果に基づく長崎大学への要望書」の資料に、項目だけでなく実際配布したアンケート用紙の提出が無かったとのご指摘がありました。

また、アンケート分析のグラフについても、山下副議長と福崎委員から「このグラフは%の表現が間違っている、正確な住民の意見が伝わらない。」と、ご指摘を頂きました。

今回のアンケートは『複数回答可』だったので、全回答数を分母として各項目が何%だったかでグラフに記載致しましたが、「それが間違いで、項目ごとに分母を回答人数（277 人）として表現するのが正しい。」とのアドバイスを頂きましたので、それに沿って解析し直し作成したものを再提出いたします。

例えばアンケートの質問 3. 施設に対する疑問は？では、次のようになります。

|     |                             |     |
|-----|-----------------------------|-----|
| あるア | 何故住宅密集地である坂本キャンパスに造るのか      | 76% |
| あるイ | 施設の安全対策や危機管理はどのようになっているのか   | 67% |
| あるウ | 緊急時における住民の避難計画はどのようになっているのか | 60% |
| あるエ | 住民に被害が及んだ時の責任の所在、補償体制は      | 73% |
|     | 疑問はない                       | 6%  |
|     | わからない                       | 1%  |

協議会でも説明致しましたように、BSL-4 施設工事着工前は、アの何故住宅密集地である坂本キャンパスに造るのか？との疑問のみであった住民も、着工後はイ、ウ、エの内容についても疑問を感じていることがわかります。

質問 2、質問 4、質問 5 についても、同様に再解析したグラフにしております。

長崎大学や監理委員会の委員の皆様にも、住民の意見としてより理解しやすいものになっております。次の 3 点を提出致しますので、宜しくお願い致します。

- ① アンケート用紙（2 枚）を追加
- ② 回答結果の集計表（1 枚）を再提出
- ③ 回答結果のグラフ（3 枚）を再提出

以 上

長崎大学の「BSL-4施設」建設についてのアンケート依頼

「新型コロナウイルス」は瞬く間に世界中に感染拡大して、人々は恐怖と不安の日々を過ごしており、目に見えないウィルスは、社会生活を破綻しています。

ここにきて、住民の皆様から「BSL-4施設」に対する不安の声が大きくなっています。

長崎大学は2021年7月完成に向けて着々と工事を進めています、皆様が抱いておられるご不安と長崎大学に対するご要望をお聞かせいただきたいと思います。

皆様のご意見を踏まえて大学に結果を提出致します。今後とも自治会として地域連絡協議会における提言や要望を行って参りたいと思いますので、何卒宜しくお願い致します。

回収は6/30(火)迄に、平野町山里自治会はヤマザキデイリー駐車場横の自治会ポストに投函、山里中央自治会は班長経由会長宅に提出いただきますよう宜しくお願い致します。

平野町山里自治会長 梶村 龍太  
山里中央自治会長 道津 靖子

\*\*\*\*\*

BSL-4施設建設について、あなたのお考えにあてはまる内容に○をつけて下さい。

☆ 各質問とも複数選択可能です。お気持ちに合うものすべてに○をつけて下さい。

☆ ご家族で複数の方が回答される場合は、必要部数をお取り下さい。

1. 新型コロナウイルスの感染拡大をうけて、BSL-4施設に対する意識は変わりましたか？

- ① 変わった (具体的に )  
② 変わらない

2. 施設に期待していることはありますか？

- ① ある      ア 薬やワクチンの開発  
                    イ 技術者の育成  
                    ウ 経済効果  
                    エ その他 ( )  
② ない  
③ わからない

3. 施設に対して疑問に思っていることはありますか？

- ① ある      ア 何故住宅密集地である坂本キャンパスに造るのか  
                    イ 施設の安全対策や危機管理はどのようになっているのか  
                    ウ 緊急時における住民の避難計画はどのようになっているのか  
                    エ 万が一、住民に被害が及んだ時の責任の所在、又補償体制はどのようになっているのか  
② ない  
③ わからない

—裏面に続く—

4. 施設の建設に不安がありますか？

- ① ある
  - ア ウィルスが漏れること
  - イ エボラ等に感染した動物の逃走
  - ウ テロの発生
  - エ 幼い子供がいるので将来が心配
  - オ 高齢者や病人は万が一の時、動くことが出来ない
- ② ない
  - ア 大学の説明がよく理解できたから
  - イ 安全な施設だと思うから
- ③ わからない

5. 大学に要望することはありますか？

- ① ある
  - ア 想定される事故の内容と、その対応策を文書で示してほしい
  - イ 事故により住民に被害が生じたときの補償内容を文書で示してほしい
  - ウ 施設の安全管理と危機管理対策を文書で示してほしい
  - エ 緊急時の住民への連絡方法を文書で示してほしい
  - オ 緊急時の住民の避難計画を文書で示してほしい
  - カ 継続的に住民の避難訓練を行ってほしい
  - キ 継続的に住民の健康診断を行ってほしい
  - ク 住民が継続的に意見を述べる機会を作ってほしい
  - ケ 住民への説明・報告等正確な情報開示を継続的に行ってほしい
- ② ない
- ③ わからない

6. その他、ご意見があれば記載下さい（1項から5項の追加内容を含む）

ご協力ありがとうございました。

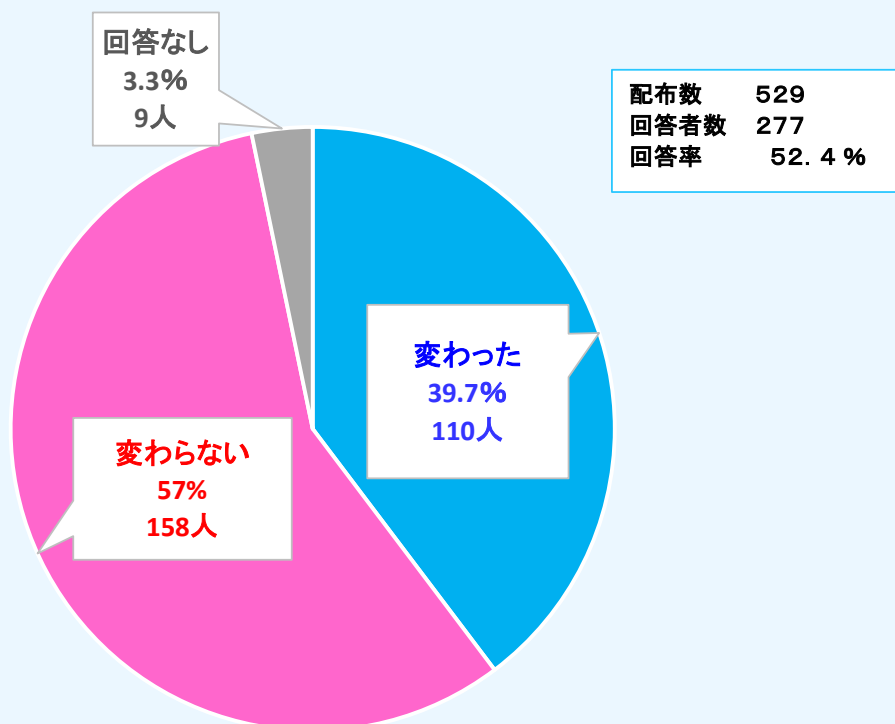
長崎大学の「BSL-4施設」建設についての周辺自治会アンケート取り纏め表

アンケート529枚配布 回答数 277 回答率 52.4%

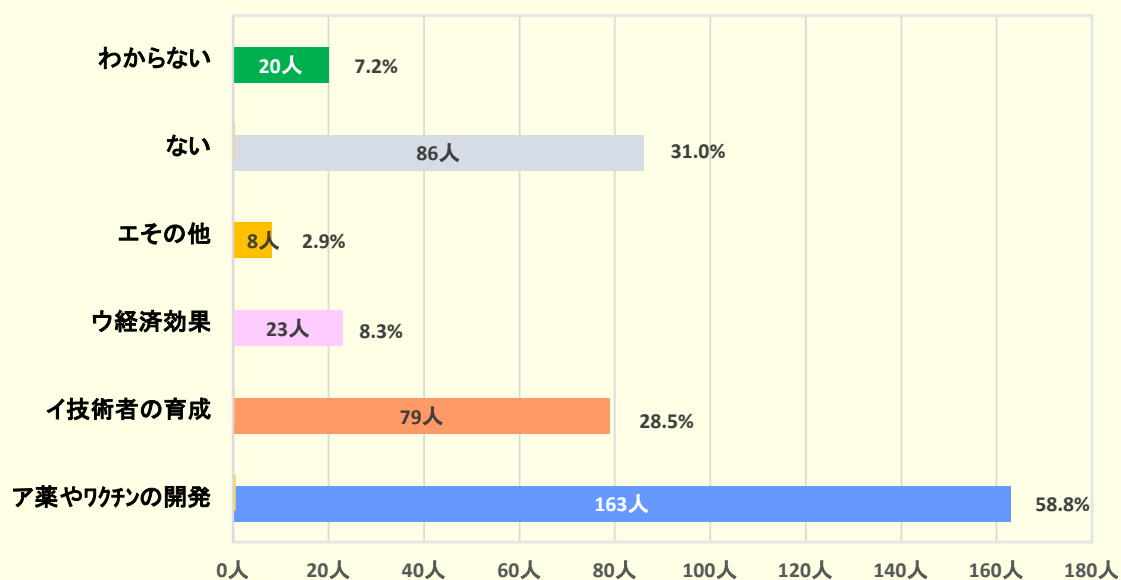
|                             |                           |      |       |
|-----------------------------|---------------------------|------|-------|
| 1. コロナ感染拡大後のBSL-4施設への意識変化は？ |                           |      | 277人  |
| 1-①変わった                     | 変わった                      | 110人 | 39.7% |
| 1-②変わらない                    | 変わらない                     | 158人 | 57.0% |
|                             | 回答なし                      | 9人   | 3.3%  |
| 2. 施設に期待していることは？            |                           |      | 277人  |
| 2-① ある ア                    | ア薬やワクチンの開発                | 163人 | 58.8% |
| 2-① ある イ                    | イ技術者の育成                   | 79人  | 28.5% |
| 2-① ある ウ                    | ウ経済効果                     | 23人  | 8.3%  |
| 2-① ある エ                    | エその他                      | 8人   | 2.9%  |
| 2-② ない                      | ない                        | 86人  | 31.0% |
| 2-③ わからない                   | わからない                     | 20人  | 7.2%  |
| 3. 施設に対する疑問は？               |                           |      | 277人  |
| 3-①あるア                      | ア何故住宅密集地の坂本キャンパスに造るのか？    | 209人 | 75.5% |
| 3-①あるイ                      | イ施設の安全対策や危機管理は？           | 185人 | 66.8% |
| 3-①あるウ                      | ウ緊急時における住民の避難計画は？         | 167人 | 60.3% |
| 3-①あるエ                      | エ住民に被害が及んだ時の責任の所在、補償体制は？  | 201人 | 72.6% |
| 3-②ない                       | ない                        | 17人  | 6.1%  |
| 3-③わからない                    | わからない                     | 4人   | 1.4%  |
| 4. 施設の建設に不安がありますか？          |                           |      | 277人  |
| 4-①あるア                      | ア ウィルスの漏洩                 | 232人 | 83.8% |
| 4-①あるイ                      | イ エボラ等に感染した動物の逃走          | 164人 | 59.2% |
| 4-①あるウ                      | ウ テロの発生                   | 136人 | 49.1% |
| 4-①あるエ                      | エ 幼い子供の将来が心配              | 71人  | 25.6% |
| 4-①あるオ                      | オ 高齢者や病人は動くことが出来ない        | 96人  | 34.7% |
| 4-②ないア                      | カ 大学の説明がよく理解出来た           | 9人   | 3.2%  |
| 4-②ないイ                      | キ 安全な施設だと思う               | 21人  | 7.6%  |
| 4-③わからない                    | ク わからない                   | 9人   | 3.2%  |
| 5. 大学に要望することは？              |                           |      | 277人  |
| 5-①あるア                      | ア想定される事故の内容と対応策を文書で示す     | 193人 | 69.7% |
| 5-①あるイ                      | イ住民に被害が生じたときの補償内容を文書で示す   | 172人 | 62.1% |
| 5-①あるウ                      | ウ施設の安全管理と危機管理対策を文書で示す     | 164人 | 59.2% |
| 5-①あるエ                      | エ緊急時の住民への連絡方法を文書で示す       | 148人 | 53.4% |
| 5-①あるオ                      | オ緊急時の住民の避難計画を文書で示す        | 139人 | 50.2% |
| 5-①あるカ                      | カ継続的に住民の避難訓練を行う           | 71人  | 25.6% |
| 5-①あるキ                      | キ継続的に住民の健康診断を行う           | 85人  | 30.7% |
| 5-①あるク                      | ク住民が継続的に意見を述べる機会を作る       | 111人 | 40.1% |
| 5-①あるケ                      | ケ住民への説明・報告等正確な情報開示を継続的に行う | 153人 | 55.2% |
| 5-②ない                       | ない                        | 16人  | 5.8%  |
| 5-③わからない                    | わからない                     | 9人   | 3.2%  |



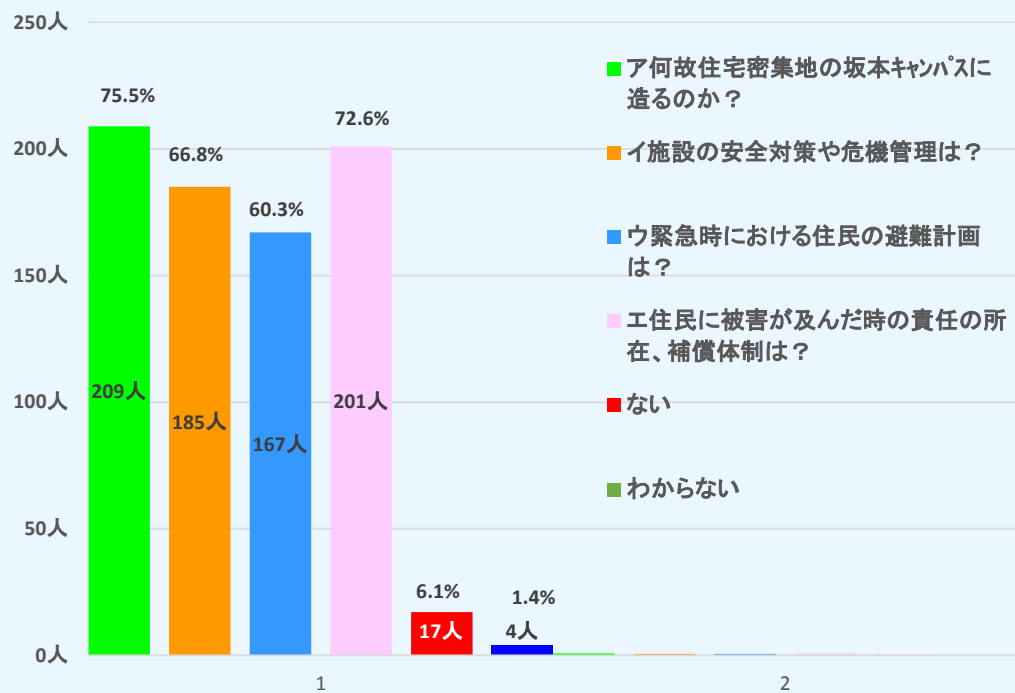
## 1. コロナ感染拡大後のBSL-4施設へ意識の変化は？



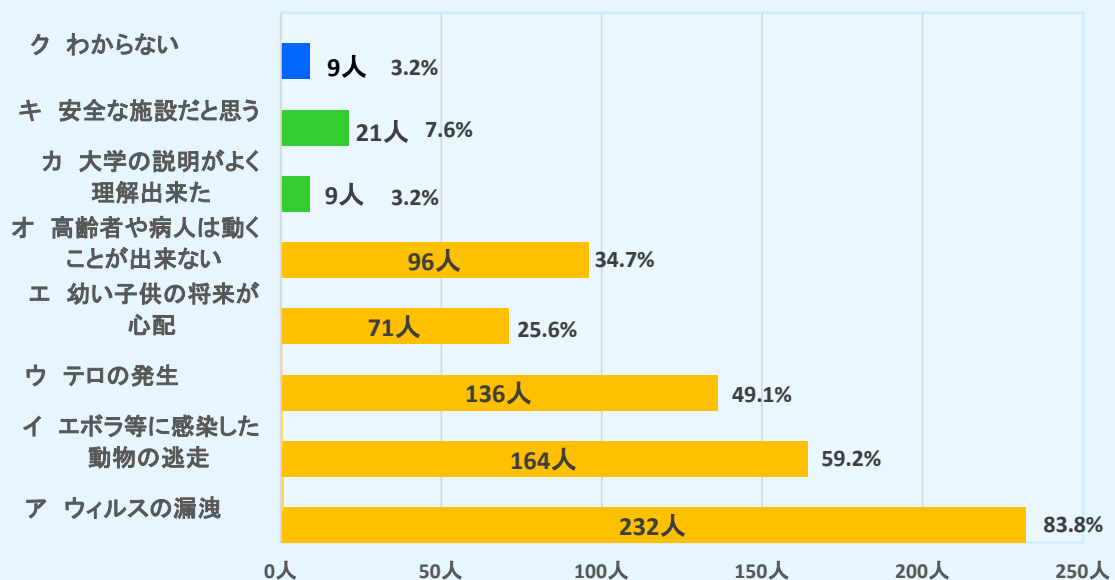
## 2. 施設に期待していることは？



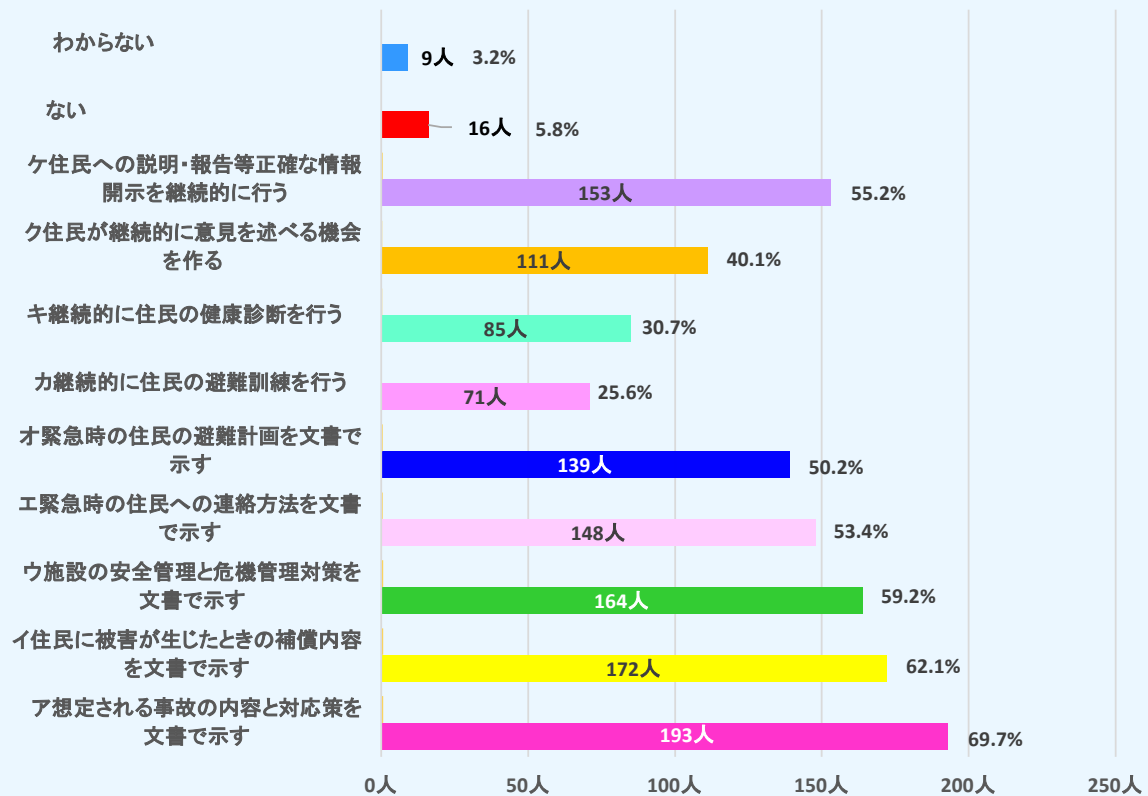
### 3. 施設に対する疑問は？



### 4. 施設の建設に不安がありますか？



## 5. 大学に要望することは？



**第 31 回長崎大学における感染症研究拠点整備に関する  
地域連絡協議会議事要旨（抜粋）**

- 1 日時 令和 2 年 8 月 25 日（火）17:30～19:30
- 2 場所 長崎大学グローバル教育・学生支援棟 G-38 講義室（1 階）
- 3 出席者数 28 名 調（議長）、山下（副議長）、石田、梶村（高谷副会長代理出席）、  
久米、田中、道津、内藤、松尾、江頭、神田、寺井、原、藤原、泉川、  
加藤、福崎、宮崎、森崎、吉田、伊藤（川添総括課長補佐代理出席）、  
濱口、安田、南保、深尾、中嶋、信濃、森田の各委員
- 4 欠席者 なし
- 5 オブザーバー  
岩崎容子（文部科学省研究振興局先端医科学研究企画官）
- 6 事務局（長崎大学）  
佐々木敬一（感染症共同研究拠点総務部門担当課長）、岡野公嘉（施設部長）、安藤豊  
幸（施設部施設企画課長）、中村拓郎（施設部施設整備課長）
- 7 議事（抜粋）

① 梶村龍太・道津靖子・神田京子委員提出

（高谷代理）BSL-4施設の建設が進む中、新型コロナウイルス感染症が全国的に、世界的にも拡大し、住民の不安が非常に気になり住民アンケートをした方がよいのではないかということになった。それぞれの生活がある中で本当に大変であったが、アンケートを取りまとめ、最後にアンケートの結果、住民の意見を踏まえた上で要望書を作成した。住民としては今後この地域で安心して暮らしていくための根拠や拠り所が必要であるが、これまであまり議論されなかったので、竣工までに時間がない中で要望するものである。この要望書については、手前味噌かもしれないが、これまでの協議会の中で最も重要な意見書だと思う。私も関わったが3名の委員やその他多くの自治会の方が協力したアンケートである。近隣住民と長崎大学との間でこのBSL-4施設計画について議論するという本協議会の趣旨にまさに合致するものであるので、真摯に受け止めていただいて議論を進めて欲しい。個別の意見を見てもらえば分かるが、計画の白紙撤回という声も根強くある。その気持ちは分かるが、そうすると、ここでの議論が現実的なものではなくなってしまうので、現実的な問題解決のための手段を提案している。そういった意味でも、今回の要望書を今後の議論に反映して欲しい。

（道津委員）アンケートを実施した理由としては、住民の忌憚のない意見を聞くべきだということで、何年も前からずっと住民アンケートをお願いしてきた。最初は、周辺住民や周辺の13自治会で、市議会に対し、住民の合意を得てから着工するよう大学に求めるように陳情した。協議会では市でもいいし、大学でもいいので、とにかくアンケートを取って住民の声を聞いて合意を得る、理解を得ることを着工の必須条件として、それを取らない限り着工はできないのではないかとずっと言ってきたが、残念ながら、2019年の1月に着工してしまった。住民の不安は置き去りにされたままではないかと思い、その後も大学に、賛成、反対のアンケートでなくてもいいので住民の不安に寄り添うようなアンケートを実施して欲しいと、個別に山里中央自治会と平野町山里自治会で大学と4回ぐらい協議をしたが受け入れてもえなかったのはすごく残念である。しかし、工事はどんどん進み出来上がってきており、新型コロナウイルスに

よる住民の意識の変化も含め、住民の意見を聞くアンケートを取るのは必要不可欠ということで今回実施したものである。住民はすごく協力的で、色々な疑問や不安などを書いているのでぜひ読んで欲しい。図表の説明は神田委員からお願いしたい。

(藤原委員) 住民アンケートということで注目して見ているが、がっかりした。アンケートをされた努力は分かるが回答数が約半分と非常に少ない。また、意見書は非常に抽象的で、年代も性別も書いていないし、同じような意見がずらっと並んでいる。本当に住民の方の意見なのかと思うような内容である。高齢者もいれば若者もいるので年代層は非常に参考になる。BSL-4施設に関心があれば圧倒的に回答数は多いはずなのに、約50%ということで住民は本当に関心を持っているのか非常に疑問に感じた。このアンケートはどのくらいの期間で、どういう内容で、どれだけのスタッフが実施したのか教えて欲しい。

(神田委員) アンケートは6月に実施し、529枚配布して277人から回答を頂き回答率は52.4%であった。アンケートで90%の回答があることはほとんどない。今回、性別や年齢を書いてもらわなかった理由は、特にBSL-4に関しては自分の声を表に出すのを不安に思ったり、何に使われるか分からないという気持ちを持ったりしている方も多かったからで、賛成、反対にかかわらず、この施設を造ることについて、コロナの影響もあって、どういうことを住民が感じているのかということ、右にも左にもどちらにも行かない、すごく平等な質問をしたと思っている。アンケートは梶村委員、道津委員、高谷副会長、私の4人が主導して行った。もちろん全員の方から回答があるのが望ましいが、回答があった中でのデータであり、これだけの数の住民しか思っていないということではなく傾向が分かる。例えば、9ページの意識の変化のグラフでは、賛成から反対に変わったのか、反対から賛成に変わったのかの理由は分からない。2以降で、施設に期待していること、施設に対する疑問、施設の建設に不安があるか、大学に要望することと具体的な質問をした。圧倒的に不安な気持ちを持っている人が多いが、薬やワクチンの開発、技術者の育成、経済効果など大学や市が説明していることを認めている人も多くいる。こういう数字が出たからといって、全て反対して施設を造るなどと言っているわけではないことを理解して欲しい。3の施設に対する疑問については、あるが97.3%、ないが2.2%、わからないが0.5%と疑問が解決されていないという気持ちの人が多くいる。4の施設の建設に不安があるかは心の問題で、ウイルスの漏洩、感染した動物の逸走、テロの発生、高齢者や幼い子供が心配の不安がある人が94.6%で、安全な施設だと思う人や大学の説明がよく理解できた人もいる。5の大学に要望することもたくさんあり、こういうことをクリアした上できちんとした施設になって欲しいというお願いで、大学に期待しているところもかなりあると思う。アンケートは、例えば100人に質問して100人が回答するものではないのでそこは理解して欲しい。意見については書いてもらったものを全部書いた。割愛したり、同じようなものは書かなかったりすると住民の声が通らないので、せっかく書いてくれた住民の気持ちをストレートに大学にお伝えしたので、気持ちを酌んで施設を造って欲しい。こういうことをするのは最初で最後であり、絶対反対ということではない。これだけの労力を要して提出したのでこのとおりにしないといけないう気持ちは毛頭ない。ただただ、施設がどんどん出来ていることに対する住民の不安が大きかったので、今これをする必要があるのではないかとということで実施したものであることを理解して欲しい。

(藤原委員) 理解できない。

(神田委員) それはそれで藤原委員の考えなので結構である。それぞれの考えがあり、

私たちはこのような気持ちでやったということである。

(原委員) 4人で主導してアンケートを実施したということであるが、二つの自治会はおそらく総会か何かを経てこの要望書を決議されたと思うが、あくまでも団体から大学に提出された要望書であり、関わった3名が協議会の委員ということで貴重な報告として真摯に受け止めるが、この内容について長時間、本協議会の場で取り上げるのは如何なものかと思う。

(内藤委員) 自治会は自主的な運営でやっている。自治会の中には数々の意見があり統一すべきではない。アンケートは意見を聞くにはふさわしくないと思うので、やって欲しくなかった。先ほど大学から、参考資料1のBSL-4 Reportを周辺自治会の全世帯に配布するので参考にして欲しい旨の説明があったが、それは非常によいことだと思う。

(寺井委員) 興味深く拝見し色々な意見があって正直面白いと思う。施設に対する疑問について、26.7%の方が住宅密集地に造ることに疑問を感じると回答している。この協議会では、これまでほとんどの方が設置場所が問題だと主張されていると思っていたので、場所が4分の1、安全対策や危機管理が4分の1、緊急時の避難計画が4分の1、補償体制が4分の1となっていることの説明をしていただけないか。

(道津委員) 住民は、立地が一番の問題とずっと思っている。そして、着工してからは、施設の安全対策がどうなのかとか、危機管理はどうなっているのかがはっきり分からないということで選択が増えているのではないか。私の自治会では班長会で、緊急時における住民の避難計画について、例えば防災無線は聞き取れないので防災ラジオを利用するように市に要望していることなどの報告をしている。アンケートは着工後に実施したものなので、施設の安全対策や危機管理等がまだはっきりしていないということで丸が増えているのではないか。しかし、住民はなぜ坂本キャンパスに造るのかという疑問が根強くあり、一番の問題であるとずっと思っている。

(山下副議長) アンケートに関しては原委員と同じで、意見として聞くのはよいが、本協議会の場で取り扱うべきではないと思う。なお、この施設に対する疑問のところはグラフの評価自体の作り方が間違っているのではないか。「何故坂本キャンパスに造るのか」は全体の回答数277のうち209なので約75%となり、逆に「ない」は17なので約6%になる。議論が錯綜しているようなので説明させていただいた。

(江頭委員) 9ページの「施設に期待していること」であるが、回答数379のうちの約70%以上の方が施設に期待しているという数字が出ている。反対が声高に言われているが、期待している人が7割もいるととらえてよいのではないか。

(宮崎委員) アンケート結果を協議会で議論することはどうかというところはあるが、少なくとも坂本キャンパス内に施設を造ることに対する不安を地域住民の皆さんが持っていることは事実だし、リスクを明らかにし、ハード面やソフト面での対策をしっかりと講じ、その不安をいかに解消し、安全性を高めていくかという議論をずっと積み重ねてきた。今回出された意見は賛否両論あり不安な気持ちを出されているものもたくさんあり、これから先ますます不安が高まってくると思うので、大学としては重く受け止め、今後の情報公開の際の参考にしていただければと思う。

(神田委員) 先ほど山下副議長から、数の取り方やグラフがおかしいのではないかという意見があったが、12ページ以降に分析を書いている。この質問は複数回答形式であったためグラフにするのが非常に難しいところがあった。微妙な違いはあるが、大まかな傾向としてはほとんど変わらない感じだったので、回答数でグラフを作成した。

(山下副議長) 回答者が277で、坂本キャンパスに造るのに疑問がある人が209であれ

ば、そこに疑問を持っている人は8割ぐらいのはずが、このグラフでは27%ぐらいになっているので少ないのではないかと言ったつもりである。

(調議長) 複数回答で、1人が丸を何個つけてもいいし、つけなくてもいいという中で、何%という個別の数字の付け方が間違っている。

(福崎委員) 大学がアンケートを取ることにはずっと反対してきたが、今回のアンケートは面白いと思う。ここでどう取り扱うかは別にしても、宮崎委員が言ったとおり期待と不安がきちんと出ている。アンケートの取り方や分析の仕方は間違っていると思う。そもそも質問用紙が付いておらず評価できないので、質問用紙は見せてもらわないといけない。アンケートは取る団体や人の価値観が質問内容に出てくるので、大学がすべきではないし、住民側もすべきではないと思っていたが、今回は賛成、反対のアンケートではないというのがポイントで、それで面白い結果が出てきているのではないか。要望書や分析には、大学側がきちんと対応し検討すべき内容が入っているので、アンケートを協議会でどう取り扱うかという議論ではなく、大学側としてこれをどう考えるかをぜひ検討して欲しい。

(神田委員) 8ページの数字以外のところがアンケートの内容であるが、これが質問用紙ではない。

(福崎委員) 質問用紙の表現等が問題となる。

(調議長) 個人的な意見であるが、思った以上に期待もあり不安もあることが分かった。不安な内容については、今後、一つひとつに対応した取組を行う中でご理解を得られるようにしていきたい。ただ疑問はたくさんある。2自治会の会員数より多く配布されているようなので、2自治会以外にはどういう人に、何人に、どういうものを、誰の名前で配布したのか分からない。そうではあるが、今後の運営に生かしていきたい。

(高谷代理) 意見書は住民の手書きの意見を原文のまま書き写したもので、個別の意見についてうんぬんするのは真剣に答えてくれた人に対して失礼だと思う。

9ページの2の施設に期待していることのところで、アの薬やワクチンの開発が163人、技術者の育成が79人など施設に期待している人が多いのではないかという意見があったが、このアとイに丸を付けた人で、施設に対する何らかの疑問や不安や要望があるに丸をした人は約8割以上いたと思う。今回の新型コロナウイルスを受けて、こういう施設もなければいけないのかなという気持ちが生まれた半面で、ウイルスが漏れて事故が起きたらどうしようという不安を抱えている、それが人間だろうと思う。全部読んでいただければ分かると思うが、期待しているが、やはり不安や疑問や要望があるというのが今回のアンケートの全体的な流れだと自分は思う。

**第 32 回長崎大学における感染症研究拠点整備に関する  
地域連絡協議会議事要旨（抜粋）**

- 1 日時 令和 2 年 10 月 14 日（水）17:30～19:30
- 2 場所 長崎大学グローバル教育・学生支援棟 G-38 講義室（1 階）
- 3 出席者数 28 名 調（議長）、山下（副議長）、石田、梶村、久米、田中、道津、内藤、松尾、江頭、神田、寺井、原、藤原、泉川、加藤、福崎、宮崎、森崎、吉田、伊藤、濱口、安田、南保、深尾、中嶋、信濃、森田の各委員
- 4 欠席者 なし
- 5 オブザーバー  
岩崎容子（文部科学省研究振興局先端医科学研究企画官）
- 6 事務局（長崎大学）  
佐々木敬一（感染症共同研究拠点総務部門担当課長）、岡野公嘉（施設部長）、中村拓郎（施設部施設整備課長）
- 7 議事（抜粋）

（梶村委員）平野町山里自治会と山里中央自治会が実施したアンケート結果については、協議会では協議しないが、大学では参考にしていると理解してよいのか。

（調議長）そのとおりである。

（梶村委員）どのようなことを住民が要望しているかという点については、どのように理解したのかお尋ねしたい。なるほどと思った点や、あまりかみ合っていないと思った点など、感想でも良いし、それに関して大学の中で議論があったのであれば、その紹介でもよい。

（調議長）理解が進んだことを感じられるところもあったが、不安に思っている方々がたくさんいるということも認識したので、今後そういう認識に基づいて対応していきたいというのが感想である。

（梶村委員）アンケート結果は大学のどの辺の人たちまで見て、今のような議論の対象になったのか。

（調議長）BSL-4 施設を運営しているチームである。

（田中委員）先週の江平自治会の役員会で 2 点質問があった。1 点目が、建設中の実験棟とは別に研究棟ができると聞いたが本当か、そのスケジュールは怎么样了のかということ。2 点目が、熱帯医学研究所の実験施設とか研究施設が学校の区域外に建設されるという噂があるが本当かということであった。協議会ではどういう話があったのか聞かれたので、建設中の実験棟に隣接して研究や管理のための研究棟を造ることが計画されていることを聞いたことと、熱帯医学研究所の施設が外部に建設されるという話は聞いていないことを役員に説明した。

私が言いたいのは、自治会に対する説明が本当に不十分だということである。今回、820 億円の内数という説明があったが、地域住民に不安を与えないようなやり方でもう少し周知してほしい。やり方は色々あると思うが広報が不足しているので適切に対応していただきたい。

（深尾委員）研究棟については、どのタイミングで報告できるか十分に議論されないまま新聞に出てしまったので、急遽、協議会で報告した。今後のスケジュールについては、地域を回って自治会ごとに説明ができるようにしたい。今日説明したロードマップの件や実験棟の建設状況なども含めて丁寧に説明させていただきたいと思っている。



(調議長) 5階建と聞いたがとても大きいねと言われた。きちんと住民に説明して回ろうとはっぱをかけたところである。

(森田委員) 熱帯医学研究所の建物を大学の外に建てるという話は知らない。世界的な新型コロナウイルスの流行もあり、長崎大学のケニア拠点を強化拡充するという案はある。

(神田委員) 先ほどの梶村委員の意見に追加したい。前回の協議会で、福崎委員、山下副議長、宮崎委員から、参考になる内容だった、こういうことをきちんと念頭に置いて考えていけないといけないのではないかという意見や、アンケートのグラフの表現にアドバイスを頂いた。グラフについては分母を回答者数に修正してパーセントを出し直し再提出したものが今回の参考資料2である。

アンケートの結果と169のリスクアセスメントはかなりリンクしている部分もあるので、施設が完成するまで日にちが少なくなっており、住民の意見も含めて協議会で一つ一つ質問したい。今回は実験スーツに関するものであるが、一番大事な人的な要素、研究内容の連絡など前回たくさんの項目を要望しているので、議論をどんどん深め、そのご意見をまとめて提示していただきたいと切に願っている。

(藤原委員) 最初に工事の進捗状況の報告があったが、毎回毎回何年も同じような写真ばかりである。もう少し具体的に色々な角度から写真撮影ができるのではないか。

先ほど道津委員から質問があった感染症専門家の名前であるが、以前3名の名前を出せたのであれば今の6名の名前も教えてほしい。

平野町山里自治会等が行ったアンケートであるが、回答数も少ないし、100%正しいのか疑問に思っている。アンケートは自治会ですればよいことであって、アンケートの結果をこの協議会場で議論することは不必要だと思う。

(調議長) 先ほども説明したが、研究者の名前を全員明らかにすることは今のところ考えていない。海外でBSL-4の研究者がテロのターゲットになったということもあるので、そういう危険にさらされないように考えている。

(道津委員) 前回は略歴と論文リストが出た。

(調議長) 顔や写真は出さず、イニシャルで出すべきではないかと、後からそういう議論になったので、今後はそうさせていただきたい。

(事務局(中村課長)) 現在に至るまでは躯体工事が主たる工事であったため、いつも変わらないような写真であったが、今後は内装工事が主たる工事になるので、工夫してバリエーション豊かな報告ができると思う。

(調議長) こんな写真というご希望、ご指摘があれば参考にしたい。アンケートの結果については資料として残している。ご要望があった意見書の文部科学省の監理委員会への提出については文部科学省の判断になるが検討したい。取りあえず意見としては頂いたと考えている。